

取扱説明書 詳細編

UHD 液晶ディスプレイ **業務用**

品番	TH-75SQE1J	(75V 型)
	TH-65SQE1J	(65V 型)
	TH-55SQE1J	(55V 型)
	TH-49SQE1J	(49V 型)
	TH-43SQE1J	(43V 型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

4K

PROFESSIONAL

* 実解像度: 3840 x 2160 画素

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-75SQE1J (75V 型)、TH-65SQE1J (65V 型)、TH-55SQE1J (55V 型)、TH-49SQE1J (49V 型)、TH-43SQE1J (43V 型) 共用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

HDMI™

Dolby Audio

Hi-C Advance™

Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主に TH-75SQE1J (75V 型) を元に作成しています。

安全上のご注意	3	USB 入力経由でのメディアの再生	44
使用上のお願い	8	USB ビューワーメニュー	44
付属品の確認	12	起動ロゴ設定	44
付属品	12	USB 自動再生機能	45
リモコンの電池の入れかた	12	プレイリストシナリオを使った USB 自動再生機能	45
外部 IR 受信機の取り付け	13	イメージサーチ機能	45
ファンクションボードの取り付け	13	USB でサポートしているメディアフォーマット	46
移動するときの注意	14	動画	46
接続	15	静止画	46
電源コードの接続と接続ケーブルの固定	15	音声	47
映像機器の接続	16	サブタイトルファイルフォーマット	48
接続の前に	17	CEC と CEC RC パススルー	49
HDMI 端子への接続	17	オーディオリターンチャンネル	49
DisplayPort IN/DisplayPort OUT 端子への接続	18	システムオーディオコントロール	49
SERIAL IN (シリアル) 端子への接続 (パソコンで制御する場合)	18	ディスプレイ設置	49
USB-C 端子への接続	19	リアルタイムクロック (RTC)	50
各部の基本説明	20	プリセット信号	51
ディスプレイ	20	ソフトウェアを更新するには	53
リモコン	21	設置時のお願い	53
基本の操作	22	壁掛けやスタンドを使用する場合のお願い	53
本機のメインメニューを使う	24	設置時の空間距離について	53
メニューの設定について	25	修理を依頼される前に	54
ネットワーク接続	38	保証とアフターサービス (よくお読みください)	57
有線接続	38	仕様	58
有線 LAN 使用時のお願い	38	ソフトウェアライセンス	62
ワイヤレス接続	39	商標について	62
コマンド制御	39		
LAN 経由の制御コマンドについて	40		
PLink プロトコル	40		
ネットワークスタンバイモード	42		
ワイヤレスディスプレイ	42		
アプリ	42		
インターネットブラウザ	43		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がある
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。



警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など）



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に接続を行いご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

警告

■ 設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 据置きには VESA 規格準拠の据置きスタンドを必ずご使用ください。
- 壁への取り付けには指定の別売壁掛け金具や VESA 規格準拠の壁掛け金具を必ずご使用ください。
75V 型：
VESA 600 × 400
65V 型：
VESA 400 × 400
55V 型：
VESA 400 × 200
49/43V 型：
VESA 200 × 200
(HP 8 ページ)
- 落下防止のため、ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■ 付属の単 3 乾電池、ねじ、およびスペーサーは乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触
禁止

■ 上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ むらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

水場使用
禁止

■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■ 裏ふた（キャビネット）を外したり、改造したりしないでください



分解
禁止



感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ふたをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

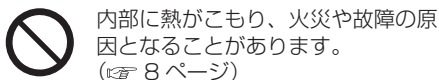
「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

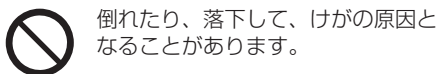
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

注意

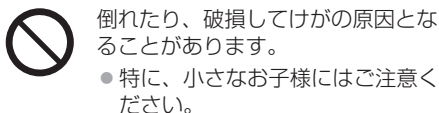
- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- あお向けにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください



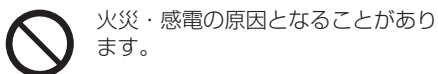
- 上に物を置かないでください



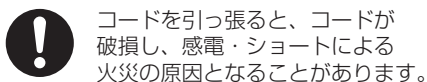
- 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



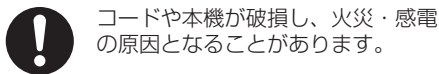
- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



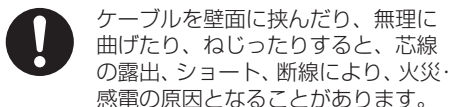
- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）を持って抜いてください



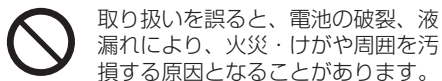
- 移動させる場合は、電源コードや機器の接続線、転倒防止具を外してください



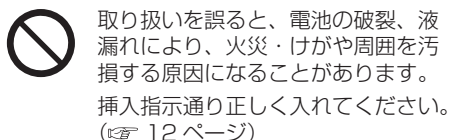
- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



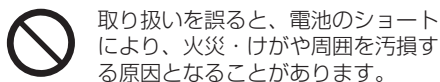
- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



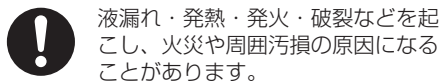
- 電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れしないでください



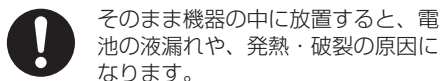
- 被覆のはがれた電池は使用しないでください



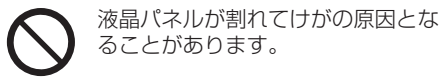
- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出してください



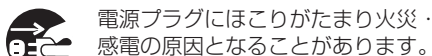
- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください



- 強い力や衝撃を加えないでください



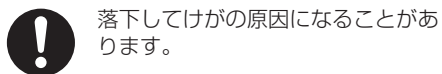
- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源
プラグを
抜く

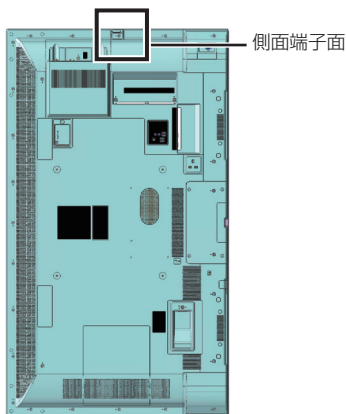
- 開梱や持ち運びは次の人数で行ってください
2人以上

- 運搬や移動をする場合は、必ず取っ手を持ち行ってください（75V 型のみ）



注意

- 本機を縦置きに設置されるときは、必ず側面端子面を上側にして設置してください



異なる方向に設置すると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 本機をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- 塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食により落下し、けがの原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

- 一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

使用上のお願い

■ 設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

屋外に設置しないでください。

- 本機は室内でご使用ください。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
- 振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

海拔 2 800 m 以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

本機の使用環境温度は、海拔 1 400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1 400 m 以上～2 800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機の液晶パネル面を立てた状態で移動してください。

- 液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

液晶パネルをつかむようなことはしないでください。

- 液晶パネルを強く押ししたり、先のとがった物で押ししたりしないでください。液晶パネルに強い力が加わると、画面表示にムラが生じ、故障の原因になります。

直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

- 室内であっても直接日光が当たると液晶パネルの温度上昇により故障の原因になることがあります。

本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

設置時の空間距離について

- 本機の動作保証温度の上限は 40℃です。ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、液晶パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が 40℃以下に維持するように適切な換気を実行してください。

VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用する場合 使用するねじについて

	取り付けピッチ	取り付け穴の深さ	ねじ（本数）
75V 型	600 mm × 400 mm	10 mm	M8 (4)
65V 型	400 mm × 400 mm	10 mm	M6 (4)
55V 型	400 mm × 200 mm	13 mm	M6 (4)
49V 型	200 mm × 200 mm	12 mm	M6 (4)
43V 型	200 mm × 200 mm	9 mm	M6 (4)

接続について

電源コードや接続ケーブル抜き差しについて

- 壁への設置を行った場合、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、先に接続してから設置してください。コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差してください。

■ ご使用になるとき

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

偏向サングラス使用時、画面表示が見えない場合があります。

- 液晶パネルの偏向特性による現象です。故障ではありませんのでご了承ください。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは精密度の高い技術で作られていますが、画面上に常時点灯または点灯しないドットが発生する場合があります。これらは故障ではありませんのでご了承ください。

ドット抜けの割合*

0.00004% 以下

※ ISO09241-307 の基準に従って副画素（サブピクセル）単位で計算しています

使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

液晶パネル表面について

- 液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

ディスプレイの一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル、天面、背面等の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体の電源スイッチで電源を切った場合は約 0.3 W の電力を消費します。
- 電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所に保管しないでください。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。が故障ではありません。

■ 有線 LAN/ 無線 LAN について

ディスプレイの無線 LAN 接続機能使用時は、2.4 GHz/5 GHz 帯域の電波を使用します。無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

ほかの無線機器の近くで使用しないでください。

- 下記の機器は、ディスプレイと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでディスプレイを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。
 - ・ 電子レンジなど
 - ・ 産業・科学・医療用機器など
 - ・ 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
 - ・ 特定小電力無線局

ディスプレイの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

- 携帯電話・テレビ・ラジオなどは、ディスプレイと違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、ディスプレイからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

- 木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、無線 LAN または有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、無線 LAN または有線 LAN 接続をしてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル  **0120-872-002**
※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは

<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/supportcenter/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

国外での取り扱いについて

- ディスプレイは、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

使用できる無線 LAN のチャンネルについて

● 下記の表を参照してください。

国または地域	規格	使用チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)
日本	ARIB STD-T66 IEEE802.11b/g/n	1 ~ 13 チャンネル	2 412 MHz ~ 2 472 MHz
	IEEE802.11a/n	36/40/44/48 チャンネル (W52)	5 180 MHz ~ 5 240 MHz
		52/56/60/64 チャンネル (W53)	5 260 MHz ~ 5 320 MHz
		100/104/108/ 112/116/120/ 124/128/132/ 136/140 チャン ネル (W56)	5 550 MHz ~ 5 700 MHz

- 電波法の規制により無線 LAN の 5 GHz 帯のうち、一部の帯域で使用に制限があります。
- W53 は屋外では使用できません。
- W52 は高出力データ通信システムの基地局または陸上移動中継局と通信する場合を除いて屋外で使用できません。
- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由してください。

2.4DS/OF4

本機は、2.4 GHz 帯を使用する、DS-SS および OFDM 変調方式の無線機器です。中心周波数に 2 412 ~ 2 472 MHz (CH1 ~ CH13) を使用し、想定干渉距離は 40 m です。



本機には、日本の電波法に基づく技術基準に適合し認証済みの無線モジュールが搭載されています。

■ セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。

- LAN 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック コネクト株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）特定の人物になりますまで通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線 LAN アダプタや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

- 無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

- セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れや液晶パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



お知らせ

- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

- 液晶パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの破損や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



通気孔のゴミやほこりを取り除く

- 使用環境によって通気孔付近に埃などが付着する場合があります。それにより、本機内部の冷却、排熱の循環が悪化し、輝度の低下や故障の原因となるおそれがありますので通気孔に付着した埃を取り除く清掃をお願いします。
- 付着するゴミやほこりの量は、設置した場所や使用時間によって異なります。

■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

大切なお知らせ

業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサービスサイト PASS について

PASS は、当社ディスプレイをご使用またはご購入を検討されている方に様々なサービスをご提供する、総合サポートサイトです。

詳しくは下記の WEB サイト

<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>

または、

パナソニック PASS  で

検索してください。

メンバー登録が未だの方は、
ボタンから登録をお願いします。

新規登録
メンバー登録・製品登録

メンバー登録がお済みの方は、登録メールアドレス / パスワードを入力してログインしてください。

■ 簡単な登録だけで、様々なコンテンツ をご利用いただけます

● ダウンロード

ユーティリティソフトウェアや業務用ディスプレイファームウェアをダウンロードできます。

● ニュースレター購読

PASS の最新情報、新製品情報などをメールでお届けします。

● お問い合わせ

ログインいただくと、細かい手続き不要ですぐにお問い合わせいただけます。

■ 3年間の無償修理サービス

ご購入いただいた製品を登録することにより、基本保証とあわせて 3 年間の無償修理サービス特約が適用されます。

■ 本体購入後 1 か月以内に PASS に ご登録頂きますようお願い致します。

付属品の確認

付属品

付属品が入っていることをご確認ください。
< >は個数です。

電源コード< 1 >

(約 2 m)

● DPVF3698ZA/X1 (DPVF3883ZA/X1)

リモコン< 1 >

● DPVF3675ZA/X1

単 3 形乾電池< 2 >

(リモコン用)

クランパー< 3 >

● DPVF3412ZA/X1

外部 IR 受信機< 1 >

● DPVF3415ZA/X1

外部 IR 受信機ホルダー< 1 >

● DPVF3416ZA/X1

ねじ< 2 >

(外部 IR 受信機ホルダー用)

● DPVF3417ZA/X1

スペーサー< 4 >

55/49/43V 型のみ

● DPVF3499ZA/X1

ねじ< 4 >

(スペーサー用)

55/49/43V 型のみ

● DPVF3500ZA/X1

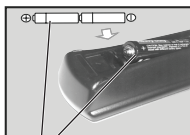
お願い

- 付属の IR センサーを本機に接続しないとリモコンで操作できません。
- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

リモコンの電池の入れかた



ふたをあける



電池を入れ、ふたをしめる
(⊖ 側から先に入れます。)

単 3 形乾電池

お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

次の点にご注意ください。

1. 電池は常に 2 本 1 組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください(例えばマンガン電池とアルカリ電池など)。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

外部 IR 受信機の取り付け

本機をリモコンで操作するために、IR IN 端子に付属の外部 IR 受信機を接続します。外部 IR 受信機はリモコンから見える位置に置いてください。

お願い

- 外部 IR 受信機の取り付け、取り外しの際は、必ずディスプレイ本体の電源を切ってください。

1 外部 IR 受信機ホルダーに IR センサーを固定する。



外部 IR 受信機

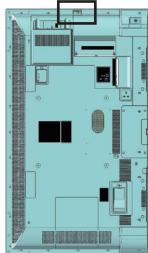


外部 IR 受信機ホルダー

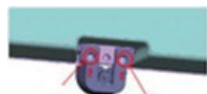
2 2本のねじで締め付ける。



横設置時



縦設置時



(後図)



(前図)

3 外部 IR 受信機のケーブルを IR IN に接続する。

ファンクションボードの取り付け

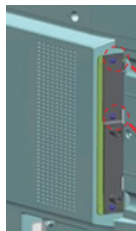
機能拡張用のファンクションボードが使用できません。

お願い

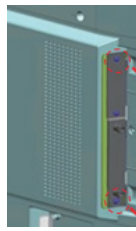
- ファンクションボードの取り付け、取り外しの際は必ずディスプレイ本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

1 ねじを2本と本機のスロットカバーを外す。

幅が狭い
ファンクションボード

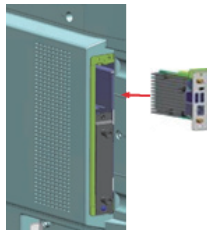


幅が広い
ファンクションボード

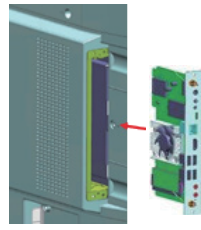


2 本機のスロットにファンクションボードを挿入する。

幅が狭い
ファンクションボード

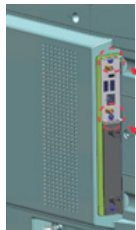


幅が広い
ファンクションボード

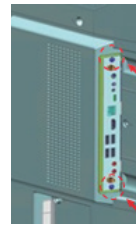


3 ねじ2本で締め付ける。

幅が狭い
ファンクションボード



幅が広い
ファンクションボード



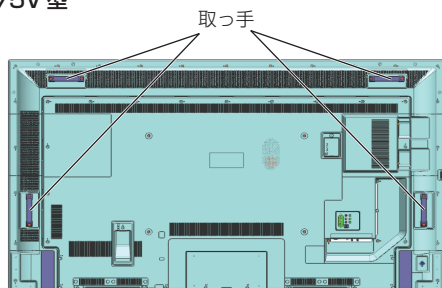
お願い

- ファンクションボードが本体スロットの開口部端面に接触しないように挿入してください。ファンクションボードに傷がつく原因になります。

移動するときの注意

本機（75V 型）には、持ち運びのための取っ手があります。移動するには取っ手を持ってください。

75V 型



お願い

- 取っ手以外の場所を持たないでください（75V 型）。
- 持ち運びは次の人数で行ってください。
2人以上
落下してけがの原因になることがあります。
- 移動時は液晶パネル面を立てた状態で持って移動してください。
液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル変形、内部破損の原因となることがあります。
- 本機の上下左右のフレームやコーナー部、また液晶パネル前面を手で持ったり、ぶつけたりしないでください。
液晶パネルの故障の原因になります。
またパネルが割れてけがの原因となることがあります。

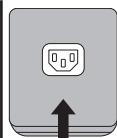
接続

電源コードの接続と接続ケーブルの固定

本体後面



電源コードの固定方法



電源コード (付属)

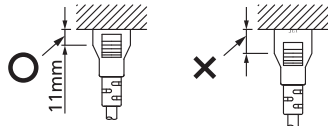
- 同梱の電源コードに合う図に従い、奥までしっかり差し込んでください。

75V 型

プラグのラインが見えなくなります。

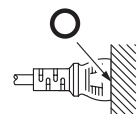


プラグの出しろが以下の数値になります。

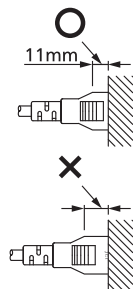


65/55/49/43V 型

プラグのラインが見えなくなります。



プラグの出しろが以下の数値になります。



お願い

- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

接続ケーブルの固定

お願い

- 本機はクランパーを3本付属しています。クランパーをご購入される場合は、お買上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)

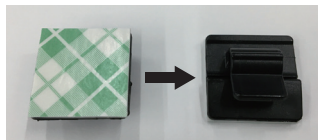
1. クランパーの取り付け

お願い

- 貼り付ける面のほこり、水、油などの汚れは拭き取り、貼り付け面にしっかり押し付けて貼ってください。
- 一度貼り付けたクランパーの再貼り付けはできませんので、貼り付け位置を十分に確認のうえ、貼り付けてください。

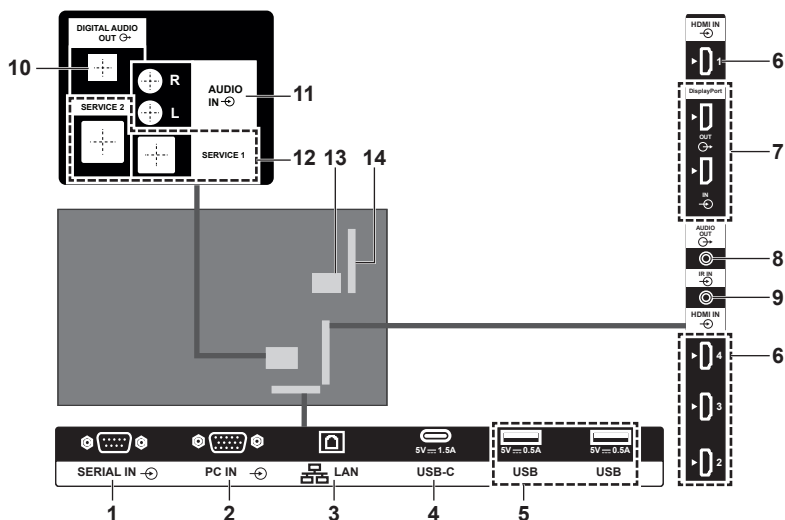
裏面のテープをはがし、平らな貼り付け面に貼る

はがす



2. ケーブルを束ねる

ケーブルをフックに引っ掛け固定する



- 1 SERIAL IN : シリアル入力端子**
パソコン等に接続して本機を制御します。
- 2 PC IN : パソコン入力端子**
パソコン等に接続します。
- 3 LAN : LAN 端子**
ネットワークに接続して本機を制御します。
- 4 USB-C : USB-C 端子**
USB-C 端子があるパソコンや映像機器を接続します。
([19 ページ](#))
USB メモリーを接続して USB ビューワー機能として使用できます。また、受像時に 5V/1.5A まで外部機器に電源を供給する事ができます。
- 5 USB : USB 端子 (2 系統)**
USB ビューワー機能を使用します。また、受像時に 5V/0.5A まで外部機器に電源を供給する事ができます。
- 6 AV IN (HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3、HDMI 4)**
HDMI 入力端子 (4 系統)
HDMI 出力がある映像機器を接続します。

- 7 DisplayPort IN、DisplayPort 入力 / 出力端子**
DisplayPort OUT :
DisplayPort 端子があるパソコンや映像機器を接続します。
- 8 AUDIO OUT : アナログ音声出力端子**
アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。
- 9 IR IN : 赤外線信号入力**
付属の外部 IR 受信機を接続します。
- 10 DIGITAL AUDIO OUT :**
デジタル音声出力端子
- 11 AUDIO IN : アナログ音声入力端子**
- 12 SERVICE 1、サービス端子**
SERVICE 2 : サービス専用
- お願い**
- サービスマン以外は使用しないでください。故障の原因になる場合があります。
- 13 USB : カバー内 USB 端子**
- 14 SLOT : 機能拡張用スロット**
([13 ページ](#))
- お知らせ**
- 対応するファンクションボードについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
 - ・ ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
 - ・ 本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
 - ・ ケーブル接続時は、アースが先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になりますと、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはバックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 爪折れ防止カバー付き LAN ケーブルを挿入した場合、カバー一部がバックカバーに接触し抜けにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- 映像機器からの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 映像出力の設定変更時など、パソコンや映像機器からの出力同期信号に乱れが発生した場合、一時的に映像に色の乱れが発生することがあります。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 本機が表示できる映像信号については「プリセット信号」(P.51 ページ) をご覧ください。

HDMI 端子への接続

HDMI 1～HDMI 4の4つのHDMI端子があり、DVDプレーヤーやパソコンを接続できます。

お知らせ

- 映像機器や HDMI ケーブルは本機に付属していません。
- HDMI 規格に準拠した機器を接続してください。
- 一部の HDMI 機器で映像を表示できないものがあります。
- 本機は、VIERA LINK には対応していません。

お願い

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。ただし、HDMI High Speed ケーブルの対応伝送速度を超える 4K 映像信号を入力する場合は、Premium HDMI ケーブルの認証を取得したものなど、18 Gbps の高速伝送に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。

使用している HDMI ケーブルの対応伝送速度を超える映像信号を入力した場合、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。

DisplayPort IN/DisplayPort OUT 端子への接続

本機の DisplayPort IN/DisplayPort OUT 端子は、DisplayPort バージョン 1.2 に対応しています。

「設定」→「システム」→「その他」の「DisplayPort ストリーム設定」は、初期設定では「MST」（マルチストリームトランスポート）に設定されています。MST 準拠のソースデバイスが本機に接続されている場合、ストリーミングデータをソースデバイスで構成する必要があります（デジチェーン接続）。

DisplayPort バージョン 1.1 準拠または DisplayPort バージョン 1.2 をサポートする SST（シングルストリームトランスポート）準拠のソースデバイスが本機に接続されている場合、本機の DisplayPort 出力はスプリッターとして機能します。この場合、接続されているすべてのディスプレイに同じ画像が表示されます。

MST 準拠のデバイスを使用して、接続されているすべてのディスプレイに同じ画像をストリーミングできるようにするには、「設定」→「システム」→「その他」の「DisplayPort ストリーム設定」を「SST」に設定してください。

デジチェーン機能を使って接続できるディスプレイの最大数は、ソースデバイスの容量によって異なります。すべてのディスプレイに表示される画像は、ソースデバイスによって決まります。たとえば、4 つの異なる FHD 画像をストリーミングするには、ソースデバイスがこの操作をサポートしている必要があります。

お知らせ

- DisplayPort 1.2 対応以上のケーブルを使用してください。

ケーブルやミニ変換コネクタの種類によっては 4K 映像が表示されない場合があります。

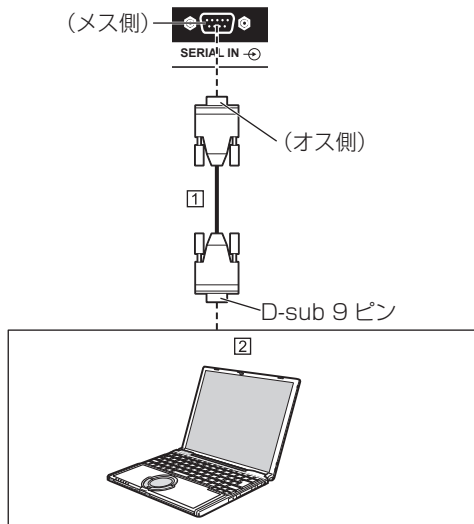
- カスケード接続されたディスプレイを使用するとき、SST 操作モードなら、すべてのディスプレイで「DisplayPort ストリーム設定」を「SST」に設定することをおすすめします。
- MST 操作モードで正しく操作するには、ソースデバイスが MST に準拠しているか確認してください。ソースデバイスがコンピューターの場合は、グラフィックカードの仕様をチェックして MST 互換が確認してください。デジチェーンで接続されたディスプレイを使用するとき、MST 操作モードなら、すべてのディスプレイで「DisplayPort ストリーム設定」を「MST」に設定することをおすすめします。

SERIAL IN（シリアル）端子への接続（パソコンで制御する場合）

SERIAL（シリアル）端子は RS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

お知らせ

- パソコンや接続ケーブルは本機に付属していません。

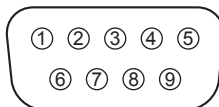


- ① RS-232C ストレートケーブル（市販品）
- ② パソコン

お願い

- SERIAL（シリアル）端子とパソコンをつなぐ通信用 RS-232C ストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

SERIAL（シリアル）端子のピン配列と信号名

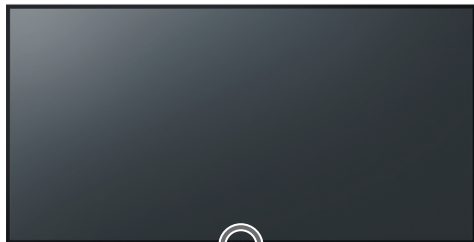


ピン No.	信号名
①	CD (NC)
②	RXD (受信データ)
③	TXD (送信データ)
④	DTR (未使用)
⑤	GND (アース)
⑥	DSR (未使用)
⑦	RTS
⑧	CTS (本体側で短絡)
⑨	RI (NC)

※パソコン側の仕様で記載しています。

各部の基本説明

ディスプレイ

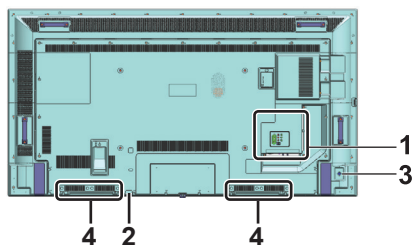


1 外部 IR 受信機 (兼電源ランプ)

本体の電源「入」のとき (電源スイッチ「入」)

- 映像表示状態：緑色点灯
- スタンバイ状態になったとき：赤色点灯
- 起動中：赤色と緑色の点滅 (ゆっくり)
- ソフトウェア更新中：赤色と緑色の点滅 (速い)

本体の電源「切」のとき (電源スイッチ「切」):
消灯



1 外部入出力端子

映像機器やパソコンなどを接続します。(P.16 ページ)

2 電源スイッチ

電源を「切」「入」します。

3 ジョイスティック

本機をオンにするには：

中心を数秒間押し続けます。

本機をオンからオフにするには：

中心を数秒間押し続けると、本機はスタンバイモードになります。

入力を切り換えるには：

中心を押すと、入力のリストが画面に表示されます。上下に倒すと、選択可能な入力を選択します。入力を選んだら、「+」側に倒します。

音量を切り換えるには：

「+」側に倒すと音量が上がリ、「-」側に倒すと音量が下がります。

お知らせ

- ジョイスティックですべての操作を行うことはできません。基本的な操作はリモコンをご使用ください。

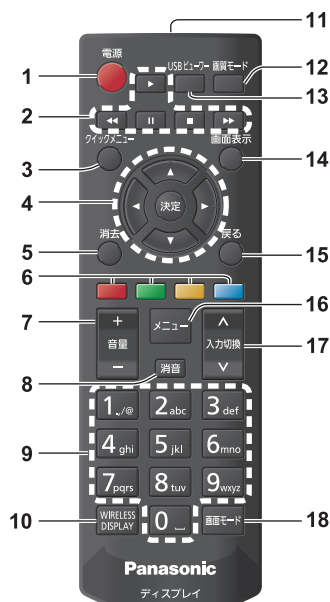
4 内蔵スピーカー

AUDIO OUT 端子へ接続しているときは、内蔵スピーカーから音声は出力されません。

お知らせ

- 接続する機器によっては、内蔵スピーカーから音声出力される場合があります。

リモコン



1 電源ボタン

- 本体の電源スイッチが「入」状態で電源を切/入します。

2 ナビゲーションボタン

- USB ビューワーや HDMI CEC 機能の操作に使用します。

3 クイックメニューボタン

- 映像や音声、本機の設定を表示します。

4 決定ボタン / カーソルボタン (▼▲◀▶)

- メニュー画面の操作に使用します。

5 消去ボタン

- 表示されているメニューを閉じて終了したり、画面を前へ戻したりします。

6 カラーボタン

- 画面の指示にしたがって操作してください。
緑: 「スケジュール設定」メニューで使用します。
青: 映像を停止します。もう一度押しと解除されます。映像が停止中でも音声は出力されます。

7 音量 - ボタン / 音量 + ボタン

- 音量を調節します。

8 消音ボタン

- 音声を一時的に消します。

9 数字 (1 ~ 0) ボタン

- IP アドレスの入力などで使用します。

10 WIRELESS DISPLAY ボタン

- ワイヤレスディスプレイ接続画面を開きます。

11 リモコン発信部

12 画質モードボタン

- 画質モードを切り換えます。

13 USB ビューワーボタン

- メディア閲覧画面を開きます。

14 画面表示ボタン

- 入力や解像度などの各種設定状態を確認します。

15 戻るボタン

- 前の画面に戻ります。

16 メニューボタン

- メインメニューを表示します。

17 入力切替ボタン

- ディスプレイに表示する入力を切り換えます。

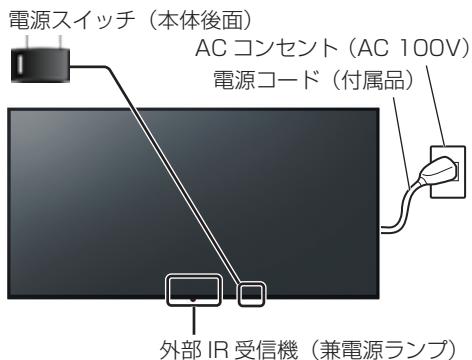
18 画面モードボタン

- 画面モード (アスペクト) を切り換えます。

お知らせ

- 本書では < 決定 > のようにリモコンや本体のボタンを < > で表しています。
また、主にリモコンのボタンで操作説明をしています。

基本の操作



リモコンは外部 IR 受信機へ向けて操作してください



お願い

- 本体の外部 IR 受信機とリモコン間に障害物を置かないでください。
- リモコンは外部 IR 受信機の正面あるいは外部 IR 受信機を見通せる方向から同部へ向けて操作してください。
- リモコンを直接本体の外部 IR 受信機に向けて操作する場合は、リモコン受信正面より約 7m 以内で操作してください。角度によっては操作可能な距離が短くなる場合があります。
- 本体の外部 IR 受信機に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 電源コードをディスプレイに接続する

([P.15](#) ページ)

2 電源プラグをコンセントへ接続する

(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お願い

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- オンスクリーンメニューで設定を変更した直後に電源プラグを抜くと、設定内容が保存されない場合があります。十分に時間を置いてから電源「切」を実行後に電源プラグを抜いてください。

3 本体の電源スイッチを切り換え

本体の電源を「入」にする

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

- 本体の電源が「入」のとき、電源ランプは点灯し、リモコンで操作ができます。
- 電源ランプが点灯している場合は、本体の電源スイッチを切り換える必要はありません。リモコンを操作して電源ランプを緑色点灯 (受像状態) へ変更してください。

■ リモコンで「切」「入」する

電源を入れる

- 本体の電源「入」(電源ランプ --- 赤色) でリモコンの電源ボタンを押すと受像します。

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

電源を切る

- 本体の電源「入」(電源ランプ --- 緑色) でリモコンの電源ボタンを押すと電源「切」になります。

電源ランプ：赤色点灯 (スタンバイ)

お知らせ

- 電源プラグを抜いた後も、電源ランプがしばらく点灯し続けることがありますが故障ではありません。
- 電源が「入」またはスタンバイのときに本体の電源スイッチを「切」にすると、本体の電源が切れます。

■初めて電源を「入」にしたとき

次の設定を順番に行います。

1 「言語の設定」

使用したい言語（例えば「日本語」）を選択し、<決定>を押してください。

「国を選択してください。」

「日本」が表示されます。<決定>を押してください。この時、「PIN」の設定画面が表示されます。「PIN」の初期設定値は「0000」です。変更されない場合は「PINのスキップ」を選択し、<決定>を押してください。変更される場合は別の4桁の数字を入力し、<決定>を押してください。あとでメニュー操作のときに「PIN」を入力するように求められた場合は、この「PIN」を入力してください。

2 「ユーザー名とパスワードの設定」

パスワードポリシーを選択し注意事項をお読みください。読み終えたあと<決定>を押してください。ユーザー名とパスワードを設定後「適用」を選択し、<決定>を押してください。設定されない場合は「設定をスキップします」を選択し、<決定>を押してください。

3 「サイネージ設定」

「サイネージ」メニューが表示されます。「ディスプレイID」、「ディスプレイ設置」、「ソフトウェア自動更新」は、このメニューから設定します。「モデル名」、「シリアル番号」、ソフトウェアバージョンは情報のみ表示し、グレーアウトされ選択できません。「モデル情報保存」を使用して、本機のモデル情報のデータを接続されたUSBデバイスに保存できます。「クローンデータ取込」を使って、接続されたUSBデバイスから本機にデータベースファイルをコピーできます。

設定が完了したら、「次へ」を選択し、<決定>を押してください。

お知らせ

- クローンデータを作成したディスプレイとクローンデータを取り込むディスプレイは同じソフトウェアバージョンにしてください。
- 「クローンデータ取込」を行った場合、本機は自動的に再起動します。

4 「操作設定」

「電源モード」が表示されます。「エコ」に設定すると通常通り電源オンします。「リアクティブ」に設定すると電源「入」時に素早く電源オンします。どちらかを選択し、「次へ」を選択してください。

お知らせ

- 本設定が「リアクティブ」の場合、スタンバイ時の消費電力が大きくなります。

5 「自動起動」の設定

「自動起動」画面が表示されます。「ブラウザー起動」または「無効」が選択できます。どちらかを選択し、<決定>を押してください。

6 「ネットワーク/インターネット設定」

ネットワークの各種設定メニューが表示されます。お好みに合わせて設定を行ってください。ネットワークスタンバイモードを「オン」にすると Wake ON LAN コマンドにてスタンバイ状態から電源を起動させることができます。設定が完了したら、「次へ」を選択し、<決定>を押してください。

「ユーザー名とパスワードの設定」をスキップした場合は、この設定はスキップされます。

これで初期設定は完了です。

■もう一度設定をやり直したいときや、工場出荷時の設定に戻りたいときは

「サイネージ」メニューから、「工場出荷時設定」を選択し、<決定>を押してください。最初に設定した「PIN」の入力を求められます。正しい「PIN」を入力すると、すべての設定を解除して本機をリセットするかどうか確認するメッセージが表示されます。「はい」を選んで、<決定>を押してください。

お知らせ

- 初期設定中は電源を切らないでください。
- 「PIN」を忘れたときは、販売店に修理をご依頼ください。
- 「PIN」の初期設定値は「0000」です。

本機のメインメニューを使う

<メニュー>を押すと、本機のメインメニューが画面の左に表示されます。リモコンのカーソルボタンでメニュー項目を選択し、<決定>を押します。メニュー項目を選択すると、このメニューのサブメニュー項目の一部がメニューバーの上部に表示されます。アクセスするには、項目を選択し、<決定>を押し、左右のカーソルボタンを使って好みに応じて設定します。終了させるには、<決定>または<戻る>を押して終了させます。

<戻る>または<消去>を押して、メインメニューを閉じます。

1. ホーム

メインメニューを開くと、ホームメニューバーが選択されます。ホームメニューの内容は、他のメニューのオプションを追加することでカスタマイズできます。オプションを選択し、リモコンの下カーソルボタンを押し、「ホームに追加」が表示されたら<決定>を押すことでホームメニューに追加できます。同様に、ホームの項目を削除したり、位置を変更したりできます。下カーソルボタンを押し、「削除」または「移動」を選択して、<決定>を押します。メニュー項目の順序を変更するには、左右カーソルボタンを使って移動したい位置を選択して、<決定>を押します。

2. 設定

このメニューのオプションを使用して映像、音声や各種機能の設定ができます。詳細は、「メニューの設定について」を参照してください。

映像、音声、システムを選択した状態で数秒待つか上カーソルボタンを押すとそれぞれのメニューにある項目のいくつかをメインメニュー上で設定できます。

2.1 オフタイマー

システムを選択した状態で数秒待つか上カーソルボタンを押すと、項目のひとつとして「オフタイマー」が表示されます。

「オフタイマー」を選択し、<決定>を押し、左右のカーソルボタンを使って、自動的に電源を切るまでの時間を設定します。


「オフ」、「00:30 (30分)」、「01:00 (60分)」、「01:30 (90分)」、「02:00 (120分)」

お知らせ

- オフタイマー設定中に<画面表示>を押すと画面右上に残り時間が表示されます。
- 「オフタイマー」は「システム」メニュー内にはありません。メインメニュー上での設定のみとなります。

3. アプリ

本機がインターネットに接続されている場合、アプリに関連したコンテンツを含め関連のコンテンツを利用できます。アプリメニューを使用すれば、アプリケーションを使用できます。

( 43 ページ)

4. 入力

このメニューに接続可能な入力が表示されます。左右のカーソルボタンを使い接続する入力を選択し、<決定>を押してください。

4.1 入力設定

選択した入力の受像を有効または無効にします。HDMI や SLOT 入力では、これらに加えて「標準」、「拡張」、「無効」が利用できます。HDMI 入力力で 4K や HDR/HLG の画像を視聴する場合、接続機器が HDMI 2.0 以降と互換があれば「拡張」に設定します。HDMI 1.4 互換なら、「標準」に設定します。「無効」に設定した場合は入力信号はスキップされ受像できなくなります。

お知らせ

- 信号やケーブルの状態によっては正常に受像できない場合があります。この場合、「拡張」と「標準」の切り換えを行ってください。

「設定」メニューの「メニューリセット」を使って、ホームメニューとアプリメニューで行ったカスタマイズをリセットできます。「メニューリセット」を選択し、<決定>を押します。確認メッセージが表示されたら、「はい」を選択し、<決定>を押して次へ進んでください。

メニューの設定について

グレーアウトや表示されていないメニューは調整できません。

信号の種類、入力、メニューの設定によって、調整できる内容は異なります。

映像	
画質モード	映像や本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。画質モードは次のいずれかに設定できます。 「サイネージ」、「ナチュラル」、「テキスト」、「ゲーム」、「スポーツ」 お知らせ ● PC 入力では調整できません。
ピクチャー	画面の明暗度を調整します。 「0」～「100」
黒レベル	画面の黒レベルの値を調整します。 「0」～「100」
シャープネス	画面に映し出される映像の輪郭の鮮明度を調整します。 「0」～「100」
色の濃さ	色の濃さを調整します。 「0」～「100」
色あい	肌色部分の色あいを調整します。 赤紫色がかかった色 <-> 緑色がかかった色 お知らせ ● PC 入力では調整できません。
エネルギーセービング	本機は環境に配慮した設計になっています。この設定を「低」、「中」、「高」、「オート」のいずれかに設定すると、本機は設定に応じてバックライトのレベルを調整し、消費電力を削減します。バックライトのレベルを固定値に設定するには、「カスタム」に設定し、リモコンの左右カーソルボタンを使って手動で「バックライト」（この設定の下の項目）を調整します。この設定を無効にするには「オフ」に設定します。 「オート」に設定中に右カーソルボタンを押すか、「カスタム」に設定されているときに左カーソルボタンを押すと、「15 秒でスクリーンオフが動作します。」と画面にメッセージが表示されます。「続行」を選択し、<決定>を押すと画面はすぐに消えます。何もボタンを押さなければ、15 秒後に画面は消えます。リモコンまたは本体のいずれかのボタンを押すと、本機は再びオンになります。 本機を使用していないときは、電源をオフにするか電源コードを抜いてください。これにより消費電力が削減されます。 お知らせ ● 画質モードの種類によって、選択できる項目が異なる場合があります。
バックライト	バックライトの値を調整します。「エネルギーセービング」が「カスタム」以外に設定されている場合は、バックライトの値は固定されて調整できなくなります。 「0」～「100」
拡張設定	
適応コントラスト補正	適応コントラスト補正の比率を好みの値に変更できます。 「オフ」、「低」、「中」、「高」
ノイズリダクション	信号が弱く、映像にノイズがある場合、「ノイズリダクション」を使ってノイズの量を減らせます。 「オフ」、「低」、「中」、「高」

映像	
色温度設定	<p>好みの色温度を設定します。 「9300K」、 「6500K」、 「10700K」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「画質モード」 が 「ゲーム」 のとき、「色温度設定」 は 「9300K」 に固定されます。
画面モード	<p>映像に合わせて設定します。 「オート」、 「フル」、 「16:9」、 「14:9」、 「4:3」、 「シネマ」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PC 入力では 「16:9」、 「4:3」 が設定できます。
ピクチャーシフト	<p>この設定は 「画面モード」 が 「シネマ」 の場合のみ、 <決定> を押し、 上下のカーソルボタンを使って画像を上下にシフトできます。</p>
フィルムモード	<p>「オート」 にすると、 映画等で撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。</p> <p>「オフ」、 「オート」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「オート」 で不自然な映像になる場合は 「オフ」 でご覧ください。
スキントーン	<p>肌色を調整します。 「-5」 ～ 「5」</p>
RGB ゲイン	<p>赤、 緑、 青の色の強さを調整します。この機能を使用すると、 画像のホワイトバランスを微調整できます。</p>
Red ゲイン	<p>赤色の強さを調整します。 「0」 ～ 「1024」</p>
Green ゲイン	<p>緑色の強さを調整します。 「0」 ～ 「1024」</p>
Blue ゲイン	<p>青色の強さを調整します。 「0」 ～ 「1024」</p>
HDMI フルレンジ	<p>HDMI 入力からの映像を視聴していると、 この機能が表示されます。各端子の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。</p> <p>「オフ」： 入力信号がビデオレンジの場合 (16-235) 例) DVD プレーヤーの HDMI 端子出力</p> <p>「オート」： 入力信号がフルレンジの場合 (0-255)、 または不明の場合 例) パソコンの HDMI 端子出力</p>
エッジスモウサー	<p>エッジの滑らかさを調整します。 「オフ」、 「低」、 「中」、 「高」</p>
PC 位置調整	<p>PC 入力で使用できます。</p>
自動位置補正	<p>PC 信号を入力すると、「水平位置」 / 「垂直位置」 / 「ドットクロック」 / 「クロック位相」を自動的に補正します。</p>
水平位置	<p>水平位置を調整します。 「-25」 ～ 「25」</p>
垂直位置	<p>垂直位置を調整します。 「-25」 ～ 「25」</p>
ドットクロック	<p>縞模様を表示した場合に、 周期的な縞模様 (ノイズ) が発生することがあります。この場合は、 ノイズが少なくなるように調整してください。 「-50」 ～ 「50」</p>
クロック位相	<p>PC 信号を入力したときに、 画面の輪郭がぼやけたり汚れたりする場合に補正します。 「-30」 ～ 「30」</p>

映像	
リセット	<p>選択中の画質モードの各設定を工場出荷時に戻します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「画質モード」の「ゲーム」はリセットできません。

音声	
音量	<p>音量を調整します。</p> <p>「0」～「100」</p>
イコライザー	<p>イコライザーのモードを選択します。カスタム設定は、「ユーザー」の場合にのみ行えます。</p> <p>「ユーザー」、「ミュージック」、「ムービー」、「スピーチ」、「フラット」、「クラシック」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Dolby Audio がオフのとき設定できます。
バランス	<p>左右のスピーカーからの音量を調整します。</p> <p>「-50」～「50」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Dolby Audio がオフのとき設定できます。
音量（外部出力）	<p>AUDIO OUT 端子から音声を出力する場合の音量を調整します。</p> <p>「0」～「100」</p>
自動音量調整	<p>入力間の出力レベルが固定されるようにサウンドを設定します。</p> <p>「Dolby Audio」の設定が「オフ」の場合、「オン」または「オフ」の設定ができます。「Dolby Audio」の設定が「オフ」以外の場合、「自動音量調整」の設定を変更できます。</p> <p>「オフ」、「ノーマル」、「ナイト」、「オート」</p> <p>「オート」：現在の時刻情報にしたがって、本機は「ノーマル」または「ナイト」に切り換わります。時刻情報を入手できない場合は、「ノーマル」になります。この設定を「オート」に設定したあとで、最初に「ナイト」に切り換わったときに情報バーが画面に表示されます。</p> <p>「ノーマル」と比較して、「ナイト」は静かな環境に適応するようにより強くダイナミックな圧縮制御になります。</p>
ダイナミックバス	<p>「ダイナミックバス」を設定します。</p> <p>「オフ」、「オン」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Dolby Audio がオフのとき設定できます。
Dolby Audio	<p>Dolby Audio 機能の設定をします。</p> <p>「オフ」、「スマート」、「ムービー」、「ミュージック」、「ニュース」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「オフ」以外に設定すると、「音声」メニューの一部がグレー表示されて使用できなくなります。
サラウンドサウンド	<p>「サラウンドサウンド」モードの設定をします。</p> <p>「オフ」、「オン」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「サラウンドサウンド」は「Dolby Audio」が「オフ」のとき設定できます。
デジタル出力	<p>デジタル音声出力のタイプを設定します。</p> <p>「PCM」、「圧縮」、「パススルー」</p>

ネットワーク	
<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この設定を変更するには、事前に「管理者アカウント」の設定が必要です。 	
ネットワーク接続方式	<p>下記のネットワーク設定ができます。</p> <p>「無効」、「有線」、「無線」</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ネットワーク接続方式」を変更すると、「ネットワーク」→「拡張設定」の設定がリセットされます。
アクセスポイント	<p>「有線」選択時</p> <p>アクセスポイントを設定します。</p>
無線ネットワークスキャン	<p>「無線」選択時</p> <p>検索されたネットワークからお好みの機器に接続してください。</p>
切断	<p>「無線」選択時</p> <p>無線ネットワークを切断します。</p>
インターネットスピードテスト	<p>スピードテストを開始して、接続帯域を確認してください。終了すると、結果が画面に表示されます。</p>
拡張設定	<p>本機の IP 設定と DNS 設定を変更します。</p>
ネットワークスタンバイモード	<p>「ネットワークスタンバイモード」の有効/無効を設定します。</p> <p>「オン」、「オフ」</p>
管理者アカウント	<p>管理者アカウントを設定します。</p>
コマンド制御	<p>ネットワーク経由でシリアル制御と同じコマンドにより本機を制御する機能の有効/無効を設定します。</p> <p>「オン」、「オフ」</p>
コマンドポート	<p>コマンド制御を使用するためのポート番号を設定します。</p> <p>「1024」～「65535」</p>
Creston Connected™	<p>この機能を「オン」に設定すると、CrestronElectronics, Inc. 製の機器やアプリケーションソフトを使用して、ネットワーク経由で本機の監視や制御を行うことができます。本機は Crestron Electronics, Inc. 社の下記アプリケーションソフトに対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RoomView Express ・ Crestron Fusion <p>Crestron Connected は、ネットワークに接続された複数の様々な機器を、管理・制御する CrestronElectronics, Inc. 製のシステムに接続できる機能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Crestron Connected の詳細については、Crestron Electronics, Inc の WEB サイトを参照してください。(英語表示のみ) <p>https://www.crestron.com/</p> <p>また、「RoomView Express」のダウンロードは、Crestron Electronics, Inc の WEB サイトを参照してください。(英語表示のみ)</p> <p>(https://www.crestron.com/resources/get-roomview)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ディスプレイデバイスによって提供される FlashUI はサポートしていません。制御システムが提供する FlashUI を使用できます。Flash UI は、ディスプレイデバイスに直接接続されませんが、この場合、制御システムを介して間接的に接続されます。 ● ワイヤレスディスプレイ入力は、Crestron Connected のインターフェイス (Roomview, Xpanel など) には表示されません。この入力を選択すると接続が切断され、Crestron デバイスと再び通信できなくなるためです。 ● コントローラーとの接続を行うには WEB ブラウザーで本機の「ネットワーク」で設定した IP アドレスを入力してください。認証画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名とパスワードは「管理者アカウント」で設定したユーザー名とパスワードを入力してください。入力後、コントローラー設定画面で、必要な情報を設定します。

ネットワーク	
PJLink 設定	PJLink での通信を行う場合に設定します。
PJLink コントロール	PJLink での制御の有効 / 無効を設定します。 「オン」、「オフ」
PJLink パスワード	PJLink のパスワードを設定します。
PJLink 通知機能	PJLink 通知機能の有効 / 無効を設定します。 「オン」、「オフ」
通知先 IP アドレス 1/ 通知先 IP アドレス 2	本機のステータスを通知するパソコンの IP アドレスを設定します。
SNMP 設定	SNMP の各種項目を設定します。SNMP (Simple Network Management Protocol) は、ネットワークに接続された機器を管理するためのプロトコルです。SNMP マネージャーを使用して接続すると、対象機器の情報取得、設定変更ができます。
SNMP	SNMP の有効 / 無効を設定します。 「オン」、「オフ」
SNMP ユーザー名	SNMPv3 のユーザー名を入力します。
セキュリティレベル	SNMPv3 のセキュリティレベルを選択します。
認証プロトコル	SNMPv3 の認証方式を「SHA1」と「MD5」から選択します。
認証パスワード	SNMPv3 の認証パスワードを設定します。
プライバシープロトコル	SNMPv3 の暗号化方式を AES と DES から選択します。
プライバシーパスワード	SNMPv3 の暗号化パスワードを設定します。
ディスプレイ名	ネットワーク上に表示される本機の名称を変更します。
リセット	「ネットワーク」の設定を工場出荷時に戻します。
<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● このメニューの項目の詳細は、ネットワーク接続も参照してください。 ● 設定を有効にするために、電源の切 / 入が必要な場合があります。 ● このメニューは、WirelessDisplay 入力では変更できません。 	

サイネージ	
機器情報	
ディスプレイ ID	本機の ID を設定します。本機を識別するために、リモコンの数字ボタンを使用して「0」～「99」の値を選択してください。
シリアル ID 機能	本機の ID 番号に応じて、SERIAL 端子に接続されたパソコンから外部制御するように設定します。 「オフ」、「オン」
ソフトウェア更新	<p>現在のソフトウェアバージョンを表示します。</p> <p><決定>を押すと、更新に関するオプションを表示します。ネットワークに接続することにより以下のオプションが使用できます。</p> <p>「自動確認」：「有効」</p> <p>更新データがサーバー上にある場合、電源 ON 時に自動的に確認します。また電源が入っている間も定期的に確認します。次の電源 ON の時に新たなソフトウェアに更新されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「電源モード」が「リアクティブ」の場合、ソフトウェアは更新されません。 <p>「自動確認」：「無効」</p> <p>自動で更新データの確認を行いません。</p> <p>「更新確認」</p> <p>「更新確認」を選択して<決定>を押すと、すぐに更新データの確認を行います。新しいソフトウェアが見つかって「はい」を選択すると、ソフトウェアの更新が開始され、自動的に再起動します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ソフトウェア更新」では現在のソフトの次のバージョンに更新されます。最新バージョンにするためには何度か「ソフトウェア更新」が必要になる場合があります。
シリアル番号	本機のシリアルナンバーが表示されます（変更できません）。
モデル名	本機の品番が表示されます（変更できません）。
モデル情報保存	<p>本機のモデル情報データを接続された USB デバイスにコピーします。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファイル名は「シリアル番号.txt」で表示されます。 ● モデル情報データはモデル名とソフトウェアのバージョン情報です。
使用時間	本機の動作時間を表示します。
制御設定	
ディスプレイ設置	OSD 表示の表示方向を設定します。 「横」、「縦 1」、「縦 2」
ピクセルシフト	<p>液晶パネルに画像が残らないように、表示画像を自動シフトします。「有効」に設定すると、一定間隔で画面位置が移動しながら画像を表示します。</p> <p>「有効」、「無効」</p>

サイネージ	
無信号	<p>現在選択している入力において信号が検出されないときの動作を設定します。</p> <p>「イメージサーチ」、「入力サーチ」</p> <p>「イメージサーチ」:</p> <p>本機は接続されている USB デバイスのルートディレクトリに再生可能なファイルがあるかチェックします。再生可能なファイルがない場合や本機に USB デバイスが接続されていない場合は、無信号を表す画像が表示されます。無信号を表す画像が表示できない場合は、無信号を表す OSD が画面に表示されます。「設定」→「システム」→「その他」の「USB 自動再生機能」の設定に関係なく、「イメージサーチ」ではこの機能が働きます。</p> <p>無信号を表す画像を登録するには</p> <p>横 1920、縦 1080 のサイズの PNG ファイルを任意の USB ストレージデバイスのルートディレクトリにインストールし、「NoSignalImage.png」という名前を付けます。USB ストレージデバイスを本機に接続します。「設定」→「サイネージ」→「USB」の「USB 操作」を選択し、<決定>を押します。</p> <p>無信号を表す画像を削除するには</p> <p>「無信号」を「イメージサーチ」に設定しているときに<決定>を押します。</p> <p>「入力サーチ」:</p> <p>本機は利用できるすべての入力において信号を連続して検索します。他に利用できる入力からの信号が検出されない場合、無信号を表す OSD が表示され、30 秒後に本機が自動的にオフになります。「無信号」を「入力サーチ」に設定しているときに<決定>を押すと、検索順番を変更するメニューが表示されます。</p>
無信号判定時間	<p>本機が無信号状態となるときに、信号なしと判定する時間を設定します。設定された時間が経過すると、信号なしと判定されます。「無信号」の設定が「入力サーチ」に設定されている場合、この項目は使用できません。</p> <p>「5 秒」～「60 秒」</p>
無信号自動オフ	<p>「有効」にすると、選択した入力から信号が受信されない場合、無信号自動オフ時間で設定した時間を経過すると本機が自動的にオフになります。</p> <p>「有効」、「無効」</p> <p>この機能は、次のすべての条件が発生した場合にのみ動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「無信号」を「イメージサーチ」に設定しているとき。 - USB デバイスが本機に接続されていない、もしくは USB デバイスが接続されているが再生可能なファイルがインストールされていないとき。 <p>「無信号」を「入力サーチ」に設定しているときは、この設定は利用できません。</p>
無信号自動オフ時間	<p>「無信号自動オフ」で本機が自動的にオフになる時間を設定します。</p> <p>「0 秒」、「10 秒」、「60 秒」、「120 秒」、「180 秒」、「240 秒」、「300 秒」、「360 秒」、「420 秒」、「480 秒」、「540 秒」、「600 秒」、「3600 秒」</p> <p>「無信号」を「入力サーチ」に設定しているときは、この設定は利用できません。</p>
ボタン操作制限	<p>本体ボタン（ジョイスティック）の使用を禁止します。</p> <p>「オフ」、「オン」</p>
リモコン操作制限	<p>リモコンのボタンの使用を禁止します。</p> <p>「オフ」、「オン」</p> <p><電源>は「オン」でも使用できます。</p> <p>この機能を「オフ」にしてリモコンを使用できるようにするには、リモコンの<メニュー>→<1>→<9>→<7>→<3>を続けて押します。「サイネージ」メニューが表示されますので、「制御設定」→「リモコン操作制限」で「オフ」を選択してください。</p>
メニュー操作制限	<p>「全メニュー」に設定すると、リモコンの<メニュー>の使用を禁止します。</p> <p>「オフ」、「全メニュー」</p> <p>「全メニュー」に設定した状態で、<メニュー>を押すと、初期設定時に定義した PIN を入力するように求められます。この機能を無効にするには「オフ」に設定してください。</p>

サイネージ	
自動入力切換	<p>HDMI1 端子または HDMI2 端子からの入力があった場合に、現在アクティブな HDMI 入りに自動的に切り換わる機能です。</p> <p>「無効」、「有効」</p> <p>HDMI 入力を取り外されると、本機は他のアクティブな HDMI 入りに切り換わります。本機に他に接続されているデバイスがなく、関連する HDMI 入力の HDMI パワーマネージメントが有効になっている場合、本機はスタンバイモードに切り換わります。連続して HDMI 入力を切り換えるには 3 秒の制限があります。最初の HDMI デバイスを接続してから 3 秒後に 2 番目の HDMI デバイスを接続してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この機能は HDMI1 端子と HDMI2 端子のみに有効です。
起動設定	
電源復帰モード	<p>電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときの電源状態を設定します。</p> <p>「ラストメモリー」、「オン」、「スタンバイ」</p>
電源モード	<p>電源「入」時、素早く電源オンさせる機能です。</p> <p>「エコ」：電源「入」時に通常通り電源オンします。</p> <p>「リアクティブ」：電源「入」時に素早く電源オンします。</p> <p>「リアクティブ」の場合、本機がオフの状態から RS-232C や LAN コマンドを使用して本機を再度オンにすることができます。左ボタンまたは右ボタンを押して、機能を「エコ」または「リアクティブ」にします。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「リアクティブ」の場合、スタンバイ時の消費電力が大きくなります。
起動遅延制御	<p>本機の電源が入るタイミングを遅らせる設定です。</p> <p>「0 ミリ秒」～「2000 ミリ秒」（100 ミリ秒毎）</p>
自動起動	<p>ブラウザーを自動起動させる機能です。</p> <p>「無効」、「ブラウザー起動」</p> <p>「ブラウザー起動」に設定した場合、起動時に「リンクオプション」の「ブラウザー起動時の初期ページ」を開きます。</p> <p>「ブラウザー起動時の初期ページ」が登録されていない場合はブラウザーを起動しません。</p>
起動時画質モード	<p>電源を入れたときの映像の「画質モード」を設定します。「オフ」に設定すると、最後に設定した「画質モード」が電源オン時に使用されます。</p> <p>「オフ」、「サイネージ」、「ナチュラル」、「テキスト」、「ゲーム」、「スポーツ」</p>
HDMI1 パワーマネージメント	<p>HDMI1 入力で映像が検知されると本機がオンになる機能です。この機能は、HDMI5V 信号に基づいています。映像信号が検知されると本機は動作し、映像信号が検知されなくなると本機はシャットダウンします。</p> <p>「無効」、「有効」</p> <p>この機能を「自動入力切換」と組み合わせるには、「サイネージ」→「制御設定」の「自動入力切換」を「有効」にすることをおすすめします。「スケジュール設定」でいずれかを設定している場合、この機能は無効になり、「有効」として設定できません。</p>
HDMI2-HDMI3-HDMI4 パワーマネージメント	<p>HDMI 入力（HDMI2、HDMI3、HDMI4）で映像が検知されると本機がオンになる機能です。この機能は、HDMI5V 信号に基づいています。映像信号が検知されると本機は動作し、映像信号が検知されなくなると本機はシャットダウンします。</p> <p>「無効」、「有効」</p> <p>この機能を「自動入力切換」と組み合わせるには、「サイネージ」→「制御設定」の「自動入力切換」を「有効」にすることをおすすめします。「スケジュール設定」でいずれかを設定している場合、この機能は無効になり、「有効」として設定できません。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 複数のデバイスが HDMI 入りに接続されていると機能しません。 ● 最後の入力以外の入力がアクティブな場合でも、本機は起動します。

サイネージ	
USB	
クローンデータ作成	接続した USB デバイスへ本機からデータベースファイルをコピーします。
クローンデータ取込	<p>接続した USB デバイスから本機へデータベースファイルをコピーします。 コピーされたファイルが表示されるので、本機にコピーするファイルを選択し、 <決定>を押すと、オプションが表示されます。</p> <p>「更新」： データが更新されます。 「USB からコピー」： 再起動し設定データが変更されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クローンデータを作成したディスプレイとクローンデータを取り込むディスプレイは同じソフトウェアバージョンにしてください。 ● 「クローンデータ取込」を行った場合、本機は自動的に再起動します。
カバー内 USB 操作	<p><決定>を押すと、「カバー内 USB 操作」画面が開きます。</p> <p>「USB ヘコピー」： USB のルートにある copy_to_int_usb フォルダからカバー内 USB のルートにある int_usb フォルダへデータをコピーします。</p> <p>「USB からコピー」： カバー内 USB のルートにある int_usb フォルダから USB のルートにある copy_from_int_usb フォルダへデータをコピーします。</p> <p>「削除」： カバー内 USB のルートにある int_usb フォルダの中を削除します。int_usb フォルダがない場合は、フォルダを作成します。</p> <p>「フォーマット」： カバー内 USB をフォーマットし、int_usb フォルダを作成します。</p> <p>「全容量」： カバー内 USB の全容量を表示します。</p> <p>「空き容量」： カバー内 USB の空き容量を表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カバー内 USB 端子に USB を接続中の時に表示されます。
app cache コピー	<p>接続した USB デバイスから本機へアプリのキャッシュデータをコピーします。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お使いのモデルによっては、使用できない場合があります。
USB 状態	<p><決定>を押すと、「USB 状態」画面が開きます。</p> <p>「全容量」： 接続した USB デバイスの全容量を表示します。</p> <p>「空き容量」： 接続した USB デバイスの空き容量を表示します。</p> <p>「フォーマット」： 接続した USB デバイスをフォーマットできます。(FAT32 フォーマットのみ)</p>
USB 操作	<p>これを選択し、<決定>を押すと、USB 操作を開始します。</p> <p>この機能は次の場合に使用します。 「設定」→「サイネージ」→「制御設定」→「無信号」</p>
USB オプション	<p>本機の USB 端子を無効にできます。また、「5V」に設定すると、USB 端子経由で 5 ボルトの電力のみ供給できます。</p> <p>「オフ」、「オン」、「5V」</p> <p>「5V」に設定した場合、本機のメディアブラウザ機能を使って USB 内のコンテンツを閲覧はできません。</p>
安全な取り外し	<p>本機に接続された USB デバイスを安全に取り外します。「安全な取り外し」を選んで<決定>を押してください。安全に取り外すことができるメッセージが表示されるのを待って、USB デバイスを取り外してください。USB デバイスを他の機器に接続するときに問題が発生し、USB デバイスをフォーマットしなくてはならない場合があります。</p>

サイネージ

ビデオウォール設定

<決定>を押すと「ビデオウォール設定」が開きます。
「ビデオウォール設定」、「縦拡大率」、「横拡大率」、「拡大位置」、「オフセット」を設定できます。

「ビデオウォール設定」： 左右カーソルボタンを使って、「無効」か「有効」を設定します。

「縦拡大率」： 縦方向の拡大率を設定します。「1」～「10」まで設定できます。

「横拡大率」： 横方向の拡大率を設定します。「1」～「10」まで設定できます。

「拡大位置」： 拡大した画面の表示する位置を設定します。「0」に設定すると、ビデオウォール機能は、無効として動作します。

「オフセット」： セット間のベゼルの厚さに応じて、目地部分に隠れる映像の領域を調整します。「0」～「50」まで設定できます。

(例)：ビデオウォールが2x3で設置されている場合、「縦拡大率」を「2」に設定し、「横拡大率」を「3」に設定します。「ビデオウォール設定」の「拡大位置」は、以下に示すように決定されます。下記の番号1のディスプレイと同じ位置に設定する場合は、「拡大位置」を「1」に設定します。

1	2	3
4	5	6

SLOT 設定

<決定>を押すと「SLOT 設定」が開きます。

「SLOT 状態」、「起動信号設定」、「電源オフ」、「復帰モード」、「常時電源オンモード」、「電源オフモード」を設定できます。

「SLOT 状態」： SLOT モジュールの「オフ」か「オン」を表示します。ソフトの PS-ON 信号 (0.5 秒) を通じて SLOT 状態を変更できます。

「起動信号設定」： PS-ON 信号の送信の「無効」または「有効」を設定します。本機は、起動時に SLOT の状態信号をチェックして、オフの場合は PS-ON 信号を送信してオンにします。一部の SLOT は、本機の起動中に状態に関する誤った情報を送信するため、オフになっているにもかかわらずオンになっているように振舞います。このような非標準の SLOT の場合は、この設定を「有効」にしてください。この場合、起動時に受信した状態情報に関係なく、PS-ON 信号が SLOT に送信されます。

「電源オフ」： ハードの PS-ON 信号を通じて SLOT をオフにします。(5 秒)

「復帰モード」： この機能が「有効」で SLOT がオンの場合、10 秒間映像信号がない場合は、ホットプラグがリセットされます。30 秒後に利用可能な映像信号がない場合は、SLOT を再起動します。

「常時電源オンモード」： この機能を「有効」にすると、リモコンなどで電源オフ時、SLOT に電源を供給します。「起動設定」→「電源モード」は「リアクティブ」になります。

「電源オフモード」： この機能を「ノーマル」にすると、ディスプレイの電源をオフする時に SLOT の電源も自動的にオフします。「強制」にすると、SLOT の電源を自動的にオフできない場合に強制的にオフします。

お知らせ

- サポートされていない SLOT や SLOT が本機に接続されていない場合、この設定は使用できません。

サイネージ	
スケジュール設定	<p>「スケジュール設定」を使えば、1 週間の決まった曜日に決まった入力力で決まった時間間隔で自動的に本機をオンするように設定できます。〈決定〉を押して、「スケジュール設定」画面を開きます。最大 4 つのスケジュールを設定できます。</p> <p>設定したい項目の最初のチェックボックスを選択し、〈決定〉を押してチェックを入れます。これで、本機が自動的にオンになる時間を設定できるようになります。最初のチェックボックスの横にあるタイムボックスを選択し、〈決定〉を押してから、リモコンのカーソルボタンと数字ボタンを使って時間を設定します。完了したら、もう一度〈決定〉を押します。</p> <p>同じ手順で、本機がオフになる時間を設定します。</p> <p>入力の設定もできます。「スケジュール設定」の「入力」の下にあるボックスを選択し、〈決定〉を押して、左 / 右カーソルボタンで必要に応じて設定します。「入力」を「ラスト入力」に設定している場合、入力は電源を入れたときには変更されません。「入力」を「USB」に設定している場合、接続された USB デバイスのメディアファイルが自動的に再生されます。(「USB 自動再生機能」P.45)</p> <p>「入力」を「USB」に設定している場合、「プレイリスト」を設定できます。「プレイリスト」は 3 種類作成できます。</p> <p>スケジュールが実行されると、プレイリストに沿って再生されます。</p> <p>自動再生中、最初に選択したプレイリストをチェックします。選択したプレイリストが USB で利用できないときは、デフォルトのプレイリストファイルをチェックします。デフォルトのプレイリストファイルが見つからないときは、「USB 自動再生機能」と同じように動作します。「プレイリスト選択」を選択したときには、以下のファイル名にしたがって操作します。</p> <p>ファイル名 (設定項目): playlist.txt(デフォルト)、playlist1.txt(Playlist1)、playlist2.txt(Playlist2)、playlist3.txt(Playlist3)</p> <p>最後に、「スケジュール設定」を有効にする曜日を設定できます。目的の曜日の下にあるチェックボックスを選択し、〈決定〉を押します。スケジュールが、チェックされた曜日に有効になります。チェックボックスをオフにするには、チェックボックスを選択し〈決定〉を 2 回押します。</p> <p>「バックライト」:</p> <p>「バックライト」のチェックボックスを有効にすると、「バックライトの設定変更」動作となり、電源オン、電源オフ動作は行いません。</p> <p>設定した時刻になると「バックライト」の設定を変更します。</p> <p>「バックライト」を選択し、〈決定〉を押すと、「バックライトレベル」の変更画面を表示します。</p> <p>スライダーを使用して「オン値」と「オフ値」を設定し、〈決定〉を押して保存します。</p> <p>「オン値」: オン時刻にバックライトを指定の値に変更します。</p> <p>「オフ値」: オフ時刻にバックライトを指定の値に変更します。</p> <p>設定は表示中の入力に適用されます。</p> <p>設定を完了したら、「スケジュール設定」画面の緑色のボタンを押して設定を保存します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スケジュールにより本機がオンされた場合のみ、設定されたオフ時間になると自動的にオフします。
リンクオプション	<p>〈決定〉を押して、「リンクオプション」画面を開きます。「ブラウザー起動時の初期ページ」と「NTP サーバー」の設定ができます。</p>

サイネージ	
音量設定	<決定>を押すと、各設定ができます。
音量制限	内蔵スピーカーの最大音量の設定をします。設定した音量以上にはなりません。
音量制限 (外部出力)	AUDIO OUT 端子使用時の最大音量の設定をします。設定した音量以上にはなりません。
スタート音量設定機能	電源「入」時の音量設定機能の有効 / 無効を設定します。 「オフ」：電源「切」前の状態の音量になります。 「オン」：「スタート音量設定値」「スタート音量設定値 (外部出力)」で設定した音量になります。
スタート音量設定値	内蔵スピーカーのスタート音量設定機能有効時の音量を設定します。
スタート音量設定値 (外部出力)	AUDIO OUT 端子使用時のスタート音量設定機能有効時の音量を設定します。
固定音量設定機能	固定音量設定機能の有効 / 無効を設定します。 「オフ」：音量を変更できます。 「オン」：音量が「固定音量設定値」で設定した音量で固定されます。
固定音量設定値	固定音量設定機能有効時の音量を設定します。
デフォルト値設定	「デフォルト値設定」を選択し、<決定>を押して、確認画面で「はい」を選択すると本機のサイネージ設定を工場出荷時に戻します。
工場出荷時設定	「工場出荷時設定」を選択し、<決定>を押して、PIN コード入力後、確認画面で「はい」を選択すると本機を工場出荷時の設定に戻します。この操作を行うには、PIN の入力が必要です。 お知らせ ● 初期設定で入力した PIN を入力してください。

システム	
表示言語切換	OSD の表示言語を設定します。
日付 / 時刻	日付と時刻を設定します。 「サイネージ」→「リンクオプション」で設定した「NTP サーバー」に接続できる場合、「日付」と「時刻」は設定できず、「時刻設定モード」と「GMT」を設定します。 「時刻設定モード」が「自動」の場合、設定された「国」に基づいて時刻が設定されます。「手動」の場合は「GMT」で GMT との時差を設定します。 お知らせ ● 「日付」は「日 / 月 / 年 (西暦)」の形式で、「時刻」は 24 時間表記で数字ボタンを使用して入力してください。 ● 「時刻設定モード」と「GMT」は「NTP サーバー」に接続できる場合のみ表示されます。
入力	入力ごとに有効か無効かを設定します。HDMI 入力および SLOT 入力については、「標準」、「拡張」、「無効」を選択できます。接続された機器が HDMI2.0 互換である場合、HDMI 入力から 4K 画像を視聴できるようにするには、「拡張」に設定してください。接続されている機器が HDMI 1.4 互換の場合は、「標準」に設定します。個々に応じて設定するか、「無効」に設定して関連する HDMI 入力を無効にします。

システム	
その他	その他の設定項目です。
メニュー表示時間	メニュー画面のタイムアウト時間を変更します。 「15 秒」、「30 秒」、「60 秒」、「オフ」
ソフトウェア更新	現在のソフトウェアバージョンを表示します。〈決定〉を押すと、更新に関するオプションを表示します。 「自動確認」：有効 更新データがサーバー上にある場合、電源オン時に自動的に確認します。また、電源が入っている間も定期的に確認します。次回の電源オン時に新たなソフトウェアに更新されます。 （お知らせ） ● 「電源モード」が「リアクティブ」の場合、ソフトウェアは更新されません 「自動確認」：無効 自動で更新データの確認を行いません。 「更新確認」 「更新確認」を選択して〈決定〉を押すと、すぐに更新データの確認を行います。新しいソフトウェアが見つかって「はい」を選択すると、ソフトウェアの更新が開始され、自動的に再起動します。 （お知らせ） ● 「ソフトウェア更新」では現在のソフトの次のバージョンに更新されます。最新バージョンにするためには何度か「ソフトウェア更新」が必要になる場合があります。
無操作自動オフ	本機が操作されていないときに自動的にスタンバイモードになる時間を設定します。 「オフ」、「1 時間」、「2 時間」、「3 時間」、「4 時間」、「5 時間」、「6 時間」、「7 時間」、「8 時間」
CEC	HDMI-CEC 機能の有効 / 無効を設定します。 「無効」、「有効」
CEC 自動電源オン	接続された HDMI-CEC 互換機器をオンにすると、本機をオンにし、本機の入力を自動的に切り換えます。 「無効」、「有効」
音量出力先	本機のリモコン使って音量を調整する先を選択します。 「ディスプレイ」、「アンプ」 「アンプ」を選択すると、本機のリモコンでアンプやレシーバーの音量を調整できます。 （お知らせ） ● 「CEC」を「有効」にしてください。 ● 接続しているアンプやレシーバーが HDMI-CEC 機能をサポートしている必要があります。
DisplayPort ストリーム設定	DisplayPort ストリームタイプを設定します。 「MST」、「SST」 （お知らせ） ● DisplayPort 入力で使用できます。
USB 自動再生機能	USB デバイスのルートディレクトリにあるメディアコンテンツの再生を自動的に開始するように設定します。 「オフ」、「オン」
ソフトウェアライセンス	ソフトウェアライセンスを表示します。
アダプター名	内蔵されている無線 LAN アダプター名を表示します。 （お知らせ） ● WirelessDisplay 入力で使用できます。

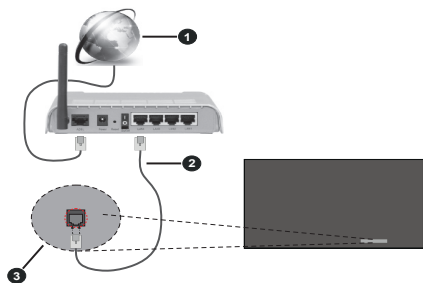
ネットワーク接続

有線または無線の設定は、「設定」→「ネットワーク」で行います。

有線接続

有線接続するには

- ・ モデムやルーターを使ってネットワークに接続します。
- ・ LAN 端子は本機の背面下部にあります。LAN ケーブルを使って、本機の LAN 端子とモデムやルーターと接続します。



- ① ブロードバンド ISP 接続
- ② LAN ケーブル
- ③ 本機の背面下部の LAN 端子

■ 有線機器の設定について ネットワーク接続方式

LAN ケーブルで接続している場合は、「ネットワーク接続方式」を「有線」に設定します。

インターネットスピードテスト

「インターネットスピードテスト」を選択して＜決定＞を押します。本機はインターネット接続の帯域幅をチェックし、完了すると結果が表示されます。

拡張設定

「拡張設定」を選択して＜決定＞を押します。次の画面で、本機の IP 設定と DNS 設定を変更できます。変更したいほうを選択し、左右カーソルボタンを使って「自動」または「手動」を設定します。「手動」にした場合は、表示される関連項目の中から変更したい項目を選択して、リモコンの数字ボタンを使って各項目を入力します。入力完了したら、「保存」を選択し、＜決定＞を押して保存します。

その他の情報

関連するオプションを使用して、「ネットワークスタンバイモード」機能を有効または無効にすることもできます。接続が確立されているなら、接続のステータスは「接続済み」または「未接続」として表示され、現在の IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。

ワイヤレスアクセスポイント

「ネットワーク接続方式」を「有線」と設定している場合、「アクセスポイント」機能が利用できます。「アクセスポイント」を選択して、＜決定＞を押します。「アクセスポイント」、「SSID」、「セキュリティ方式」、「パスワード」の設定ができます。

「アクセスポイント」:

アクセスポイントの機能を開始または停止します。この機能は、現在の状況に応じて変化します。

「SSID」:

アクセスポイントの名称を入力します。

「セキュリティ方式」:

WPA2 PSK を使用してネットワークを保護します。「なし」に設定もできます。「なし」場合、アクセスポイントに接続するためのパスワードは必要ありません。「セキュリティ方式」は、アクセスポイント機能がアクティブになっていない場合のみ設定できます。

「パスワード」:

アクセスポイントのパスワードを設定します。「パスワード」は、「セキュリティ方式」が「WPA2 PSK」として設定されている場合に使用でき、アクセスポイント機能がアクティブになっていない場合のみ設定できます。

有線 LAN 使用時のお願い

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- ・ じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、有線 LAN 接続をしてください。
- ・ まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

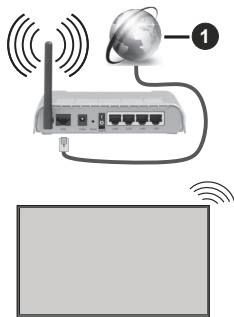
放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- ・近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

ワイヤレス接続

ワイヤレスネットワークに接続するには

- ・ブロードバンドに接続されたワイヤレスモデムやルーターを用意してください。



① ブロードバンド ISP 接続

- ・2.4GHz 帯域と 5GHz 帯域の双方を持つワイヤレスルーター (IEEE 802.11a / b / g / n) は、帯域幅を増やすように設計されています。これらは、よりスムーズで高速な HD ビデオストリーミング、ファイル転送、およびワイヤレスゲーム用に最適化されています
- ・周波数とチャンネルは地域によって異なります。
- ・伝送速度は、伝送する製品間の距離や障害物の数、これらの製品の構成、電波の状態、回線のトラフィック、および使用している製品によって異なります。電波の状態、DECT 電話、その他の WLAN 11b アプライアンスによっては、送信が遮断されたり、切断されたりすることがあります。伝送速度の基準値は、無線規格の理論上の最大値です。実際のデータ転送速度ではありません。
- ・送信に最も効果的な場所は、使用環境によって異なります。
- ・本機のワイヤレス機能は、802.11a / b / g / n タイプのモデムをサポートしています。ビデオの視聴中に発生するかもしれない問題を回避するには、IEEE802.11n 通信プロトコルを使用することを強くおすすめします。
- ・同じ SSID を持つモデムが他にある場合は、モデムの SSID を変更してください。そうしないと、接続での問題が発生するかもしれません。ワイヤレス接続で問題が発生したときは、有線接続を使用してください。

ワイヤレス機器の接続について

「ネットワーク」→「ネットワーク接続方式」で「無線」を選択して、設定を開始してください。

「無線ネットワークスキャン」を選択し、<決定>を押して、利用可能なワイヤレスネットワークを検索します。見つかったすべてのネットワークがリストアップされます。リストから目的のネットワークを選択し、<決定>を押して接続します。

お知らせ

- モデムが N モードをサポートしている場合は、N モード設定を行ってください。
- 選択したネットワークがパスワードで保護されている場合は、仮想キーボードを使用して正しいパスワードを入力します。このキーボードは、リモコンのカーソルボタンと<決定>で使用できます。
- 画面に IP アドレスが表示されるまで待ってください。
- これで接続が完了です。ワイヤレス接続を切断するには、「ネットワーク接続方式」を選択し、左右カーソルボタンを使って「無効」を選択してください。
- 「インターネットスピードテスト」を選択し、<決定>を押して、インターネットの接続速度を確認します。「拡張設定」を選択し、<決定>を押して、「拡張設定」メニューを開きます。カーソルボタンと数字ボタンで設定します。完了したら「保存」を選択し、<決定>を押して、設定を保存します。

その他の情報

「ネットワークスタンバイモード」機能を有効または無効にする設定もあります。接続が確立されているなら、接続のステータスは、「接続」または「未接続」として表示され、現在の IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。

コマンド制御

本機のネットワーク機能は、ネットワークからシリアル制御と同等に本機を制御することができます。

対応コマンド

シリアル制御で使用しているコマンドに対応しています。(P.19 ページ)

LAN 経由の制御コマンドについて

接続方法

- ディスプレイの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してディスプレイへ接続を要求してください

IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。

- IP アドレス: 「設定」→「ネットワーク」→「拡張設定」→「IP 設定」
または「ネットワーク」の下部に表示される接続状態
- ポート番号: 「設定」→「ネットワーク」→「コマンドポート」
- 詳しい設定方法については 38 ページをご覧ください。

- ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
[INTCONTROL]	[「]	[「]	[「]	[zzzzzzzz]	(CR)
(ASCII 文字列)	0x20	0x31	0x20	(ASCII コード 16 進数)	0x0d
9 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	8 バイト	1 バイト

- MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

[xxxxxx:yyyyy:zzzzzzz]

xxxxxx: 「管理者アカウント」で設定したユーザー名

yyyyy : 上記「管理者アカウント」で設定したパスワード

zzzzzzz: 手順2で取得した8バイトの乱数

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー	データ部	終端記号
ハッシュ値 (「接続方法」参照)	制御コマンド (ASCII 文字列)	(CR)
0x30	0x30	0x0d
32 バイト	不定長	1 バイト

受信データ

ヘッダー	データ部	終端記号
'0'	制御コマンド (ASCII 文字列)	(CR)
0x30	0x30	0x0d
1 バイト	不定長	1 バイト

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
"ERR1" 未定義の制御コマンド	(CR)
"ERR2" パラメーター範囲外	0x0d
"ERR3" ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4" タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5" 誤ったデータの長さ	
"ERRA" パスワード不一致	
4 バイト	1 バイト

お知らせ

- いくつかのコマンドでは受信データに送信データの文字列の一部が含まれないものがあります。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。
業務用ディスプレイ【まかせなサイト】
(<https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays>)

PJLink プロトコル

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 およびクラス 2 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

クラス	コマンド	制御内容
1	POWR	電源制御 0: スタンバイ 1: 電源「入」
1	POWR?	電源状態問い合わせ 0: スタンバイ 1: 電源「入」
1,2	INPT	入力切り換え ※コマンド INST? のパラメーターを参照。
1,2	INPT?	入力切り換え問い合わせ ※コマンド INST? のパラメーターを参照。
1	AVMT	シャッター制御 10: 映像オン (映像ミュート解除) 11: 映像オフ (映像ミュート) 20: 音声オン (音声ミュート解除) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)

1	AVMT?	シャッター制御問い合わせ 11: 映像オフ (映像ミュート) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
1	ERST?	エラー状態問い合わせ 1 バイト目: 0 2 バイト目: 0 3 バイト目: 0 4 バイト目: 0 5 バイト目: 0 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 または 2 のいずれか ・ 0、2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない、 2 = エラー
1,2	INST?	入力切り換え一覧問い合わせ 11: PC 入力 (PC) 31: HDMI 1 入力 (HDMI1) 32: HDMI 2 入力 (HDMI2) 33: HDMI 3 入力 (HDMI3) 34: HDMI 4 入力 (HDMI4) 35: DisplayPort IN 入力 (DisplayPort) 36: SLOT 入力 (SLOT) 37: USB-C 入力 (Type C) 51: Wireless Display (Wireless Display)
1	NAME?	ディスプレイ名問い合わせ ネットワークのディスプレイ名の内容を応答します。
1	INFO?	その他情報問い合わせ バージョン番号を応答します。
1	INF1?	メーカー名問い合わせ "Panasonic" と応答します。
1	INF2?	機種名問い合わせ "75SQE1J" と応答します。 (75V 型 SQE1J の場合)
1	CLSS?	クラス情報問い合わせ "2" と応答します。
2	SNUM?	シリアル番号問い合わせ シリアル番号を応答します。
2	SVER?	ソフトウェアバージョン問い合わせ バージョン番号を応答します。

2	INNM?	入力端子名称問い合わせ 入力端子名称を応答します。 11: PC 31: HDMI1 32: HDMI2 33: HDMI3 34: HDMI4 35: DisplayPort 36: SLOT 37: USB-C 51: Wireless Display
2	IRES?	入力信号解像度問い合わせ 入力信号解像度を応答します。
2	RRES?	推奨解像度問い合わせ "3840x2160" と応答します。
2	FREZ	フリーズ (映像静止) 制御 0: フリーズ (映像静止) 解除 1: フリーズ (映像静止)
2	FREZ?	フリーズ (映像静止) 制御問い合わせ 0: フリーズ (映像静止) 解除 1: フリーズ (映像静止) 中
2	SVOL	スピーカー音量 0: 音を小さくします。 1: 音を大きくします。
2	SRCH	ディスプレイ検索 同一ネットワーク内に接続されている、PJLink の通信が可能な機器が、その MAC アドレスを応答します。

PJLink セキュリティー認証

PJLink で使用するパスワードは、「ネットワーク」→「PJLink 設定」→「PJLink パスワード」で設定してください。

認証なしで使用する場合は、PJLink のパスワードをなしに設定してください。

- ・ PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。
URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

ネットワークスタンバイモード

Wake-on-LAN (WoL) および Wake-on-Wireless LAN (WoWLAN) は、ネットワークメッセージ (マジックパケット) を使って、デバイスの電源をオンにしたり、起動したりできるようにする技術です。このメッセージは、スマートフォンなど、同じローカルエリアネットワークに接続されたリモートデバイスで実行されるプログラムによってデバイスに送信されます。

本機は WoL と WoWLAN に互換性があります。この機能を有効にするには、「設定」→「ネットワーク」の「ネットワークスタンバイモード」を「オン」に設定し、「サイネージ」→「起動設定」の「電源モード」を「エコ」に設定します。ネットワークメッセージを本機に送信するデバイスと本機の両方が同じネットワークに接続されている必要があります。すべてのデバイスは、アクセスポイントからマジックパケットを送信するデバイス、およびマジックパケットを受信して起動するデバイスまで、システム上でマジックパケットをサポートしている必要があります。マジックパケットを送信するために、デバイスのオペレーティングシステムで利用できる Wake-on-LAN ソフトウェアを使用できます。

機能を制御させるには

- ・「設定」→「ネットワーク」で「ネットワークスタンバイモード」を「オン」にします。
- ・本機と、マジックパケットを本機に送信するリモートデバイスを、同じネットワークに接続します
- ・マジックパケットを送信するために必要な本機の MAC アドレスを取得します。
- ・本機をスタンバイモードにします。
- ・携帯電話、Linux または Windows パソコンで、本機の MAC アドレスにマジックパケットを送信します。

マジックパケットを受信すると、本機は起動します。

ワイヤレスディスプレイ

ワイヤレスディスプレイは、ビデオや音声コンテンツのストリーミングのための規格です。この機能により、本機をワイヤレスディスプレイのデバイスとして使用できます。

モバイルデバイスを使うには

モバイルデバイスと本機の間でグラフィックやビデオの画面、音声のコンテンツなどを共有できるいろいろな規格があります。

本機はワイヤレス LAN のドングルを内蔵していますので、リモコンの < WIRELESS DISPLAY > を押して、ワイヤレスディスプレイの入力に切り換えます。

本機が接続の準備をできたことを示す画面が表示されます。

モバイルデバイスで共有しているアプリを開きます。アプリの名称は各ブランドで異なります。詳しくはモバイルデバイスの取扱説明書をご覧ください。

デバイスがスキャンされます。本機を選択して接続すると、デバイスの画面が本機に表示されます。

お知らせ

- ワイヤレスディスプレイは、モバイルデバイスがこの機能をサポートしている場合にのみ使用できます。接続で問題が発生した場合は、使用しているオペレーティングシステムのバージョンがこの機能をサポートしているかどうかを確認してください。本機の製造後にリリースされたオペレーティングシステムのバージョンとの互換性に問題がある可能性があります。スキャンと接続の過程は、使用するプログラムによって異なります。サポートしている最大解像度は 1920x1080 です。画質は、隣接するワイヤレスネットワークやインターネット接続速度の影響を受けることがあります。
- この機能を終了すると、ネットワーク接続設定が初期化される場合があります。その場合は、「ネットワーク」→「拡張設定」を確認してください。

アプリ

「アプリ」から本機にインストールされているアプリケーションにアクセスできます。アプリを選択し、<決定>を押して起動します。

お知らせ

- アプリケーションに起因する問題は、コンテンツのサービスプロバイダーに原因がある場合があります。
- サードパーティによるインターネットサービスは、変更や中止、制限が発生する可能性があります。


インターネットブラウザ

インターネットブラウザを使用するには、「アプリ」メニューでインターネットブラウザ（地球のシンボルが付いたオレンジ色のロゴ）を選択します。（インターネットブラウザのロゴは変更されることがあります。）

ブラウザを起動すると、登録済の「スピードダイヤル」と「スピードダイヤルの編集」「スピードダイヤルに追加」が表示されます。

「設定」→「サイネージ」→「リンクオプション」の「ブラウザ起動時の初期ページ」で URL を定義している場合、ブラウザはこのページを表示します。


ブラウザを操作するには、リモコンのカーソルボタンや接続したマウスを使用します。ブラウザのオプションバーを表示するには、カーソルをページの上部に移動します。履歴、タブ、ブックマークのオプションと、前/次のボタンを含むブラウザバー、更新ボタン、アドレス/検索バー、スピードダイヤル、Vewd ボタンが使用できます。


すばやくアクセスできるようにスピードダイヤルのリストに目的の Web サイトを追加するには、カーソルをページの上部に移動します。ブラウザバーが表示されます。スピードダイヤルの  ボタンを選択し、<決定>を押します。次に、「スピードダイヤルに追加」を選択し、<決定>を押します。名前とアドレスを空欄に記入し、「OK」を押して追加します。

表示中のサイトをスピードダイヤルに追加するには、Vewd ボタンを選択して、<決定>を押します。次に、サブメニュー「スピードダイヤルに追加」を選択して、もう一度<決定>を押します。名前とアドレスは、アクセスしているサイトに応じて自動的に入力されます。「OK」を押して追加します。

Vewd メニューオプションを使用してブラウザを管理できます。Vewd ボタンを選択し、<決定>を押すと、使用可能なページの固有のオプションと一般的なオプションが表示されます。

Web ブラウザーを使用して Web サイトを検索またはアクセスするには、さまざまな方法があります。

ウェブサイトのアドレス (URL) を検索 / アドレスバーに入力し、仮想キーボードの「」を選択し、<決定>ボタンを押すと、サイトにアクセスします。

検索 / アドレスバーにキーワードを入力し、仮想キーボードの「」ボタンを選択し、<決定>ボタンを押すと、関連する Web サイトの検索を開始します。

スピードダイヤルのサムネイルを選択し、<決定>ボタンを押すと、関連する Web サイトにアクセスします。

インターネットブラウザは、USB キーボード / マウスを使用して操作できます。

一部の Web ページにはフラッシュを使ったコンテンツが含まれています。本機のブラウザではサポートされていません。

本機では、ブラウザを使ったインターネットからのダウンロードはサポートしていません。

インターネット上のすべてのサイトをサポートしているわけではありません。サイトによっては、コンテンツに問題が発生する可能性があります。状況によっては、ビデオコンテンツを再生できないことがあります。

ブラウザ使用中はリモコンのカラーボタンを使って次の操作ができます。

赤： Web ページの表示を拡大

緑： Web ページの表示を縮小

黄： アドレス / 検索バーを開く

青： Vewd メニューオプションを開く

USB 入力経由でのメディアの再生

本機の USB 入力を使用して、2.5 インチおよび 3.5 インチ（外部から電源を供給する HDD）の外付けハードディスクドライブまたは USB メモリースティックをディスプレイに接続できます。

お知らせ

- 本機に接続する前に、ストレージデバイスにあるファイルをバックアップしてください。当社はファイルの損傷やデータの損失について責任を負いません。一部の USB デバイス（MP3 プレーヤーなど）、USB ハードディスクドライブ、USB メモリースティックは、本機と互換性がない場合があります。本機は、FAT32 および NTFS のファイルシステムをサポートしています。

USB プレーヤーがファイルを読み取っている可能性があるため、少し時間をおいてからプラグを抜き差ししてください。USB プレーヤーや USB デバイスに物理的な損傷を与える可能性があります。ファイルの再生中はドライブを引き出さないでください。

USB ハブを使用できます。この場合、外部電源の USB ハブの使用をお勧めします。

USB ハードディスクを接続する場合は、本機の USB 入力に直接接続することをおすすめします。

お知らせ

- 画像ファイルを再生する場合、USB ビューワーマニューに表示できる画像ファイルは、接続している USB デバイスに保存されているうち 1000 個分です。





USB ビューワーマニュー

USB ストレージデバイスを本機に接続すると、音楽や動画のファイルを再生したり、写真ファイルを表示したりできます。USB ストレージデバイスを本機の背面にある USB 入力のいずれかに接続します。

USB ストレージデバイスを本機に接続すると、画面に USB ビューワーマニューが表示されます。接続された USB デバイスのコンテンツには、あとからいつでも入力メニューからアクセスできます。入力メニューから関連する USB 入力のオプションを選び、<決定>を押します。ファイルを選んで、<決定>を押すと再生が始まります。

USB ビューワーの設定は設定メニューから行います。設定へは、ビデオファイルの再生中または画像ファイルの表示中に<画面表示>を押すと画面下部に表示される操作パネルからアクセスできます。

<画面表示>を押し、操作パネルの右側にある歯車のアイコンを選択し、<決定>を押します。映像設定、音声設定、USB ビューワー設定、オプションメニューが使用できます。これらのメニューの内容は、開いているメディアファイルの種類によって変わります。

ループ / シャッフルモードの操作	
再生が始まり、  が有効	リストにあるすべてのファイルを順番に繰り返し再生します。
再生が始まり、  が有効	一つのファイルを繰り返し再生します。（1 ファイルリピート）
再生が始まり、  が有効	リストにあるすべてのファイルをランダムに再生します。
再生が始まり、  が有効	リストにあるすべてのファイルをランダムに繰り返し再生します。

操作パネルの機能を使用するには、アイコンを選択し、<決定>を押します。機能の状態を変更するには、アイコンを選択し、必要だけ<決定>を押します。アイコンに赤い斜線が付いているときは、無効になっています。

お知らせ

- ループ / シャッフルモードのリストは、再生したファイルと同じフォルダーにある同じ種類のメディアファイルで構成されます。

起動ロゴ設定

USB ビューワーで表示中の JPEG ファイルを起動ロゴに設定できます。

- 1 JPEG ファイル表示中に操作パネルの右側にある歯車のアイコンを選択し、<決定>を押します
- 2 「オプション」を選択し、<決定>を押します
- 3 「起動ロゴ設定」を選択し、<決定>を押します
- 4 確認画面が表示されるので「はい」を選択し、<決定>を押します

お知らせ

- 起動ロゴに設定する JPEG ファイルのサイズは 1MByte 未満にする必要があります。
- JPEG ファイルの画像サイズは 3840x2160 または 1920x1080 を推奨します。
- 「工場出荷時設定」をすると起動ロゴも工場出荷時の設定に戻ります。

USB 自動再生機能

USB 自動再生機能は、USB ストレージデバイスのルートディレクトリにある写真とビデオのコンテンツを順番に（ファイル名順に）再生します。

この機能は次の条件でのみ動作します。

- USB デバイスが挿入されている。
- 「設定」→「システム」→「その他」の「USB 自動再生機能」が「オン」になっている。

プレイリストシナリオを使った USB 自動再生機能

接続された USB ストレージデバイスに「playlist.txt」という名前のファイルがインストールされている場合、新しいシナリオがスタートします。このファイルのメディアコンテンツは、入力された順序にしたがって再生あるいは表示されます。

この機能を有効にするには、「playlist.txt」という名前のファイルを USB ストレージデバイスにインストールする必要があります。また、ファイルの最初の行は「/**do usb auto play**/」で始めてください。

表示 / 再生するファイルは、playlist.txt に 1 行ずつ書き込む必要があります。「/* */」表示は、行から外すというコメントを示します。コンテンツ再生中は、<音量>ボタンと<電源>ボタンのみ使用します。<戻る>ボタンと<消去>ボタンで終了操作を行います。

ファイルの中身のサンプル：

```
/**do usb auto play**/
```

```
picture.jpg
```

```
video.mp4
```

```
picture2.jpg
```

```
/*picture3.jpg*/
```

```
video2.mp4
```

スケジュール機能で使用する場合

このシナリオでは、スケジューラーの作成時に入力を USB に設定し<決定>を押すと、プレイリスト選択画面が表示されます。ユーザーは以下のプレイリストを選択できます。

デフォルト： playlist.txt

PLAYLIST1： playlist1.txt

PLAYLIST2： playlist2.txt

PLAYLIST3： playlist3.txt

スケジューラーが有効になると、プレイリストシナリオがスタートします。

自動再生中は、選択したプレイリストがまずチェックされます。選択したプレイリストが接続された USB ストレージデバイスで利用できない場合、デフォルトのプレイリストファイルがチェックされます。デフォルトのプレイリストファイルが見つからない場合は、USB 自動再生機能と同じ働きになります。

お知らせ

- 自動再生中に<戻る>または<消去>が押されると、自動再生が終了します。

イメージサーチ機能

「設定」→「サイネージ」→「制御設定」で「無信号」の設定を「イメージサーチ」に設定していると、本機は、再生可能なファイルがあるか接続した USB デバイスのルートディレクトリをチェックします。再生可能なファイルがない場合や、USB デバイスが接続されていない場合は無信号のイメージが表示され、無信号自動オフ時間で設定した時間を経過するとディスプレイは自動的にオフになります。

お知らせ

- 現在の入力で信号が検出されると、無信号のイメージや無信号の OSD はきえますが、USB デバイスのファイルの再生は続きます。
- 「設定」→「システム」→「その他」にある「USB 自動再生機能」の設定に関係なく、「イメージサーチ」モードは機能します。

USB でサポートしているメディアフォーマット

動画

ビデオコーデック	解像度	ビットレート	ファイル形式 (コンテナ)
MPEG1/2	1080P@60fps	40Mbps	MPEG プログラムストリーム (.DAT、.VOB、.MPG、.MPEG)、MPEG トランスポートストリーム (.ts、.trp、.tp)、MP4 (.mp4、.mov)、3GPP (.3gpp、.3gp)、AVI (.avi)、MKV (.mkv)、ASF (.asf)
MPEG4			MPEG プログラムストリーム (.MPG、.MPEG)、MP4 (.mp4、.mov)、3GPP (.3gpp、.3gp)、AVI (.avi)、MKV (.mkv)、ASF (.asf)
XviD			MP4 (.mp4、.mov)、AVI (.avi)、MKV (.mkv)、ASF (.asf)
Sorenson H.263			FLV (.flv)、AVI (.avi)
H.263			MP4 (.mp4、.mov)、3GPP (.3gpp、.3gp)、AVI (.avi)、MKV (.mkv)
H.264	3840x2160@30fps、1080P@60fps	135Mbps	FLV (.flv)、MP4 (.mp4、.mov)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MPEG トランスポートストリーム (.ts、.trp、.tp)、ASF (.asf)、AVI (.avi)、MKV (.mkv)
Motion JPEG	720P@30fps	10Mbps	AVI (.avi)、3GPP (.3gpp、.3gp)、MP4 (.mp4、.mov)、MKV (.mkv)、ASF (.asf)
VP8	1080P@30fps	20Mbps	MKV (.mkv)、WebM (.webm)
HEVC/H.265	4K2K@60fps	100Mbps	MP4 (.mp4、.mov)、MKV (.mkv)、MPEG トランスポートストリーム (.ts、.trp、.tp)
	1080P@60fps	50Mbps	MP4 (.mp4、.mov)、MKV (.mkv)、MPEG トランスポートストリーム (.ts、.trp、.tp)、3GPP (.3gpp、.3gp)
VP9	4K2K@30fps	100Mbps	MKV (.mkv)、WebM (.webm)

静止画

イメージ	フォト	解像度 (横 x 高さ)	備考
JPEG	ベースライン	15360x8640	DRAM サイズで、最大解像度の限度が異なります。
	プログレッシブ	1024x768	
PNG	非インターレス	9600x6400	
	インターレス	1200x800	
BMP		9600x6400	

音声

オーディオコーデック	サンプリングレート	ビットレート	ファイル形式 (コンテナ)
MPEG1/2 Layer1	16 kHz ~ 48 kHz	32 kbps ~ 448 kbps	MP3 (.mp3), AVI (.avi), ASF (.asf), Matroska (.mkv, .mka), MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp), MPEG プログラムストリーム (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG), WAV (.wav)
MPEG1/2 Layer2	16 kHz ~ 48 kHz	8 kbps ~ 384 kbps	MP3 (.mp3), AVI (.avi), ASF (.asf), Matroska (.mkv, .mka), MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp), MPEG プログラムストリーム (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG), WAV (.wav)
MPEG1/2 Layer3	16 kHz ~ 48 kHz	8 kbps ~ 320 kbps	MP3 (.mp3), AVI (.avi), ASF (.asf), Matroska (.mkv, .mka), 3GPP (.3gpp, .3gp), MP4 (.mp4, .mov, .m4a), MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp), MPEG プログラムストリーム (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG), FLV (.flv), WAV (.wav)
AC3	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	32 kbps ~ 640 kbps	AC3 (.ac3), AVI (.avi), Matroska (.mkv, .mka), 3GPP (.3gpp, .3gp), MP4 (.mp4, .mov, .m4a), MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp), MPEG プログラムストリーム (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
EAC3	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	32 kbps ~ 6 Mbps	EAC3 (.ec3), 3GPP (.3gpp, .3gp), MP4 (.mp4, .mov, .m4a), MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp), MPEG プログラムストリーム (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
AAC, HEAAC	8 kHz ~ 48 kHz		AAC (.aac), AVI (.avi), Matroska (.mkv, .mka), 3GPP (.3gpp, .3gp), MP4 (.mp4, .mov, .m4a), MPEG トランスポートストリーム (.ts, .trp, .tp), MPEG プログラムストリーム (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG), FLV (.flv), RM (.ra)
WMA	8 kHz ~ 48 kHz	128 kbps ~ 320 kbps	ASF (.wma, .asf), AVI (.avi), Matroska (.mkv, .mka)
WMA 10 Pro M0	48 kHz	< 192 kbps	
WMA 10 Pro M1	48 kHz	< 384 kbps	
WMA 10 Pro M2	96 kHz	< 768kbps	
G711 A/ mu-law	8 kHz	64 kbps ~ 128 kbps	WAV (.wav), AVI (.avi), Matroska (.mkv, .mka), 3GPP (.3gpp, .3gp), MP4 (.mp4, .mov, .m4a)
LBR (cook)	8 kHz, 11.025 kHz, 22.05 kHz, 44.1 kHz	6 kbps ~ 128 kbps	RM (.ra)
FLAC	8 kHz ~ 96 kHz	< 1.6 Mbps	Matroska (.mkv, .mka)

サブタイトルファイルフォーマット

内部字幕		
拡張子	コンテナ	サブタイトルコード
.dat、.mpg、.mpeg、.vob	MPG、MPEG	DVD Subtitle
.ts、.trp、.tp	TS	DVB Subtitle
.mp4	MP4	DVD Subtitle UTF-8 Plain Text
.mkv	MKV	ASS SSA UTF-8 Plain Text VobSub DVD Subtitle
.avi	AVI (1.0, 2.0), DMFO, 1, 2	XSUB XSUB+

外部字幕		
拡張子	形式	備考
.srt	Subrip	
.ssa/ .ass	SubStation Alpha	
.smi	SAMI	
.sub	SubViewer MicroDVD DVDSubsubtitleSystem SubIdx (VobSub)	SubViewer 1.0、2.0のみ
.txt	TMPlayer	

お知らせ

- サポートしているファイルでも、再生できない場合があります。

CEC と CEC RC パススルー

この機能を使えば、本機のリモコンを使って HDMI 端子に接続した CEC 互換のデバイスを制御できます。

まず、「設定」→「システム」→「その他」の「CEC」を「有効」に設定してください。次に、CEC デバイスを接続している HDMI 端子を選択します。新しい CEC デバイスが接続されると、接続されている HDMI ポート名ではなく、固有の名称（DVD Player、Recorder 1 など）で入力メニューに表示されます。

接続された HDMI 入力を選択されると、自動的に本機のリモコンで主な機能を実行できるようになります。この操作を終了し、もう一度、リモコンでディスプレイを制御するには、リモコンの「0」ボタンを3秒間押し続けます。

「設定」→「システム」→「その他」にある関連のオプションを設定することで、CEC 機能を無効にできます。

お知らせ

- ディスプレイや映像機器が起動中などの状態により、機器連動しない場合があります。

オーディオリターン チャンネル

本機は ARC（オーディオリターンチャンネル）をサポートしています。この機能は、オーディオリンクで、本機とオーディオシステム（AV レシーバーやスピーカーシステム）間の他のケーブルを置き換えることを目的としています。

ARC が有効な場合、本機は他のオーディオの出力を自動的にミュートしません。ARC オーディオのみを聞きたい場合は、本機の音量を手動でゼロに下げることがあります（光または同軸デジタルオーディオの出力も同じです）。接続されているデバイスの音量レベルを変更する場合は、入力リストからそのデバイスを選択してください。その場合、ボリュームコントロールキーは接続されたオーディオデバイスに向けられます。

お知らせ

- ARC は、HDMI 1 端子でのみ動作します。

システムオーディオ コントロール

本機でオーディオアンプやレシーバーを使用できるようにします。本機のリモコンで音量調整ができます。この機能を有効にするには、「設定」→「システム」→「その他」の「音量出力先」を「アンプ」に設定します。本機のスピーカーはミュートされ、視聴中の入力の音声は接続されたサウンドシステムから聞こえます。

お知らせ

- オーディオデバイスがシステムオーディオコントロール機能をサポートし、CEC オプションを有効に設定している必要があります。

ディスプレイ設置

必要に応じて、本機の OSD（オンスクリーンディスプレイ）を回転できます。初期設定実行中に、「サイネージ」メニューが表示されたら、必要に応じて OSD の方向を設定します。この設定は、あとから「サイネージ」→「制御設定」から変更できます。「横」、「縦 1」、「縦 2」の設定ができます。

お知らせ

- OSD のみ回転します。
- 入力映像やインターネットブラウザー画面は回転しません。

リアルタイムクロック (RTC)

本機にはリアルタイムクロック（RTC）機能が
あります。本機の電源コードを抜いたり、停電し
たりして電源供給が中断された場合に、実際の日
付と時刻の情報を一定期間維持するために使用
されます。このとき、本機は RTC に保存されて
いる日付と時刻の情報を使用します。

- すべての時間の情報が RTC の日付と時刻で上書きさ
れます。
- 本機は、定期的（最後の更新から 6 時間後）に NTP
サーバーへ接続して、現在の日付と時刻の情報を取
得します。本機がこの情報を NTP サーバーから正常
に取得すると、本機は受信した日付と時刻の情報で
自身が持つ情報と RTC を更新します。NTP サーバー
との更新が失敗した場合、本機は RTC の日時を使用
して自身が持つ情報を更新します
- RTC のバッテリーは、統合されたリアルタイムクロッ
クとカレンダーに電力を供給します。外部電源がな
くても、RTC は最低 14 日間機能します。
- RTC が時間のソースとして使用されていても、手動
の日時設定は、「設定」→「システム」の「日付 / 時刻」
でできます。

プリセット信号

本機が表示できる映像信号は下表のとおりです。

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォー マット *2	プラグアンドプレイ対応信号 *3			
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			HDMI	DP	TypeC	VGA
480/60i	720(1440) x 480i *1	15.73	59.94	27	H/DP/TypeC	○	○	○	—
576/50i	720(1440) x 576i *1	15.63	50	27	H/DP/TypeC	○	○	○	—
480/60p	720 x 483	31.47	59.94	27	H/DP/TypeC	○	○	○	—
576/50p	720 x 576	31.25	50	27	H/DP/TypeC	○	○	○	—
720/60p	1280 x 720	45	60	74.25	H/DP/TypeC	○	○	○	—
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25	H/DP/TypeC	○	○	○	—
1080/60i	1920 x 1080i	33.75	60	74.25	H/DP/TypeC	○	○	○	—
1080/50i	1920 x 1080i	28.13	50	74.25	H/DP/TypeC	○	○	○	—
1080/24p	1920 x 1080	27	24	74.25	H/DP/TypeC	○	○	○	—
1080/25p	1920 x 1080	28.13	25	74.25	H/DP/TypeC	○	○	○	—
1080/30p	1920 x 1080	33.75	30	74.25	H/DP/TypeC	○	○	○	—
1080/60p	1920 x 1080	67.5	60	148.5	H/DP/TypeC	○	○	○	—
1080/50p	1920 x 1080	56.25	50	148.5	H/DP/TypeC	○	○	○	—
2K/24p	2048 x 1080	27	24	74.25	H/DP/TypeC	—	—	—	—
2K/25p	2048 x 1080	28.13	25	74.25	H/DP/TypeC	—	—	—	—
2K/30p	2048 x 1080	33.75	30	74.25	H/DP/TypeC	—	—	—	—
2K/48p	2048 x 1080	54	48	148.5	H/DP/TypeC	—	—	—	—
2K/60p	2048 x 1080	67.5	60	148.5	H/DP/TypeC	—	—	—	—
2K/50p	2048 x 1080	56.25	50	148.5	H/DP/TypeC	—	—	—	—
3840x2160/24p	3840 x 2160	54	24	297	H/DP/TypeC	○	○	○	—
3840x2160/25p	3840 x 2160	56.25	25	297	H/DP/TypeC	○	○	○	—
3840x2160/30p	3840 x 2160	67.5	30	297	H/DP/TypeC	○	○	○	—
3840x2160/60p	3840 x 2160	135	60	594	H/TypeC	○	—	○	—
3840x2160/50p	3840 x 2160	112.5	50	594	H/TypeC	○	—	○	—
4096x2160/24p	4096 x 2160	54	24	297	H/DP/TypeC	○	○	○	—
4096x2160/25p	4096 x 2160	56.25	25	297	H/DP/TypeC	○	○	○	—
4096x2160/30p	4096 x 2160	67.5	30	297	H/DP/TypeC	○	○	○	—
4096x2160/60p	4096 x 2160	135	60	594	H/TypeC	○	—	○	—
4096x2160/50p	4096 x 2160	112.5	50	594	H/TypeC	○	—	○	—
640x400/70	640 x 400	31.47	70.09	25.18	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
640x400/85	640 x 400	37.86	85.08	31.5	H/DP/TypeC	—	—	—	—
640x480/60	640 x 480	31.47	59.94	25.18	H/DP/TypeC/VGA	○	○	○	○
640x480/67	640 x 480	35	66.67	30.24	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
640x480/73	640 x 480	37.86	72.81	31.5	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
640x480/75	640 x 480	37.5	75	31.5	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
640x480/85	640 x 480	43.27	85.01	36	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
800x600/56	800 x 600	35.16	56.25	36	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
800x600/60	800 x 600	37.88	60.32	40	H/DP/TypeC/VGA	○	○	○	○
800x600/72	800 x 600	48.08	72.19	50	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
800x600/75	800 x 600	46.88	75	49.5	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
800x600/85	800 x 600	53.67	85.06	56.25	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
832x624/75	832 x 624	49.72	74.55	57.28	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
852x480/60	852 x 480	31.47	59.94	34.24	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1024x768/50	1024 x 768	39.55	50	51.89	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1024x768/60	1024 x 768	48.36	60	65	H/DP/TypeC/VGA	○	○	○	○

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォー マット *2	プラグアンドプレイ対応信号 *3			
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			HDMI	DP	TypeC	VGA
1024x768/70	1024 x 768	56.48	70.07	75	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1024x768/82	1024 x 768	65.55	81.63	86	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1024x768/85	1024 x 768	68.68	85	94.5	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1066x600/60	1066 x 600	37.64	59.94	53	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1152x864/60	1152 x 864	53.7	60	81.62	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	○
1152x864/70	1152 x 864	63.99	70.02	94.2	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1152x864/75	1152 x 864	67.5	75	108	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1152x864/85	1152 x 864	77.09	85	119.65	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1152x870/75	1152 x 870	68.68	75.06	100	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1280x720/60	1280 x 720	44.76	60	74.48	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	○
1280x768/50	1280 x 768	39.55	49.94	65.18	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1280x768/60	1280 x 768	47.7	60	80.14	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1280x768/60	1280 x 768	47.78	59.87	79.5	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1280x800/50	1280 x 800	41.2	50	68.56	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1280x800/60	1280 x 800	49.31	59.91	71	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1280x800/60	1280 x 800	49.7	59.81	83.5	H/DP/TypeC	—	—	—	○
1280x960/60	1280 x 960	60	60	108	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1280x960/85	1280 x 960	85.94	85	148.5	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1280x1024/60	1280 x 1024	63.98	60.02	108	H/DP/TypeC/VGA	○	○	○	○
1280x1024/75	1280 x 1024	79.98	75.02	135	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1280x1024/85	1280 x 1024	91.15	85.02	157.5	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1360x768/60	1360 x 768	47.71	60.02	85.5	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1360x768/60	1360 x 768	47.7	60	84.72	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1360x768/60	1360 x 768	47.72	59.8	84.75	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1366x768/50	1366 x 768	39.55	50	69.92	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1366x768/60	1366 x 768	48.39	60.03	86.71	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1366x768/60	1366 x 768	48	60	72	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1366x768/50	1366 x 768	39.56	49.89	69	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1366x768/60	1366 x 768	47.71	59.79	85.5	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1400x1050/60	1400 x 1050	65.22	60	122.61	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1400x1050/75	1400 x 1050	82.2	75	155.85	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1440x900/60	1440 x 900	55.47	59.9	88.75	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1440x900/60	1440 x 900	55.92	60	106.47	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	—
1600x900/50	1600 x 900	46.3	50	97.05	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1600x900/60	1600 x 900	60	60	108	H/DP/TypeC	—	—	—	○
1600x900/60	1600 x 900	55.99	59.95	118.25	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1600x900/60	1600 x 900	55.92	60	119	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1600x1200/60	1600 x 1200	75	60	162	H/DP/TypeC/VGA	—	—	—	○
1680x1050/60	1680 x 1050	65.29	59.95	146.25	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1920x1080/60	1920 x 1080	66.59	59.93	138.5	H/DP/TypeC	—	—	—	—
1920x1080/60	1920 x 1080	67.5	60	148.5	H/DP/TypeC/VGA	○	○	○	○
1920x1200/60	1920 x 1200	74.04	59.95	154	H/DP/TypeC/VGA	○	○	○	○

*1: Pixel-Repetition 信号 (ドットクロック周波数 27.0MHz) のみ

*2: フォーマットを表す記号は以下の通りです。

H : HDMI (HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3、HDMI 4)
DP : DisplayPort (DisplayPort)
TypeC : USB-C
VGA : D-sub RGB

*3: プラグアンドプレイ対応信号欄に○がある信号は、本機の EDID (Extended Display Identification Data) に記述している信号です。
プラグアンドプレイ対応信号欄に○がない信号は、本機が対応していてもコンピューター側で解像度の選択ができない場合があります。

お知らせ

- 自動判別した信号フォーマットが、実入力信号と異なった表示になる場合があります。
- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。

ソフトウェアを更新するには

自動で更新する方法と手動で更新する方法があります。

更新するには、インターネットに接続している必要があります。

1. 現在のソフトウェアバージョンを表示する

次のいずれかの方法で表示できます。

- ・「設定」→「サイネージ」→「機器情報」→「ソフトウェア更新」
- ・「設定」→「システム」→「その他」→「ソフトウェア更新」

2. <決定>を押す。

更新に関するオプションが表示されます。

- ・「自動確認」：「有効」

更新データがサーバー上にあるか、電源をオンにしたときに自動的に確認します。また、電源が入っている間も定期的に確認します。次回の電源オンの時に新たなソフトウェアに更新されます。

お知らせ

- 「電源モード」が「リアクティブ」の場合、ソフトウェアは更新されません。
- ・「自動確認」：「無効」
自動で更新データの確認を行いません。
「更新確認」を選択して<決定>を押すと、すぐに更新データの確認を行います。新しいソフトウェアが見つかり「はい」を選択すると、ソフトウェアの更新が開始され、自動的に再起動します。

お知らせ

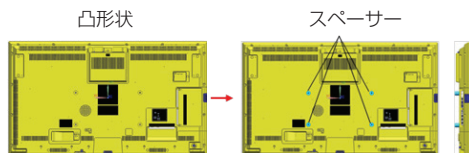
- 「ソフトウェア更新」では現在のソフトの次のバージョンに更新されます。最新バージョンにするためには何度か「ソフトウェア更新」が必要になる場合があります。

設置時のお願い

壁掛けやスタンドを使用する場合のお願い

(55/49/43V 型のみ)

後面の VESA ホールの付近に凸形状があります。壁掛けやスタンドを使用する場合は、スペーサーを取り付けてください。



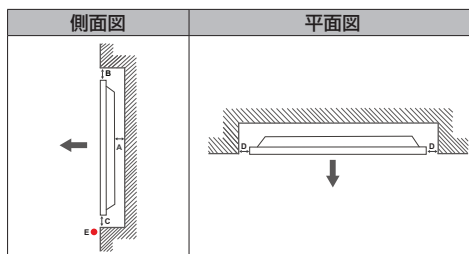
お知らせ

- 寸法の詳細については、Web サイトの CAD 図面を参照してください。

設置時の空間距離について

本機の動作保証温度の上限は 40℃です。ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、液晶パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が 40℃以下に維持するように適切な換気を実行してください。

本機の周辺温度が確認できない場合は下記の空間距離を必ず確保してください。ケース内の温度はいかなる場合も 40℃以下になるようにしてください。



A 最小 50 mm

D 最小 50 mm

B 最小 70 mm

E 周辺温度範囲: 0 ~ 35℃

C 最小 50 mm

お知らせ

- 凹壁に本機を設置するときは、少なくとも製品と壁の間に換気のために上記で指定されたスペースを確保し、周囲温度が 0℃ ~ 35℃ の間に保たれるようにしてください。
- これらの条件やこの取扱説明書に従って本機が使用されていない場合、当社はいかなる損害または故障についても責任を負いません。

修理を依頼される前に・・・ もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。これは故障ではありません。	—
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグやコネクタが外れていませんか。	15
電源が自動的に切れる	● 「サイネージ」→「制御設定」→「無信号自動オフ」、「サイネージ」→「起動設定」→「HDMI1 パワーマネージメント」/「HDMI2-HDMI3-HDMI4 パワーマネージメント」が「有効」または「システム」→「その他」→「無操作自動オフ」が「オフ」以外に設定されていませんか。	—
電源ランプが赤色点減して、すぐに消える	● 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。	—
	● 外部 IR 受信機に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。	—
	● 外部 IR 受信機とリモコン間に障害物はありませんか。	—
	● 本機専用のリモコンを使用していますか。(他のリモコンでは動作しません)	—
	● 「サイネージ」→「制御設定」→「リモコン操作制限」を「オン」にしていますか。	—
	● 外部 IR 受信機が本機の IR IN 端子から外れていませんか。	13
	● 本体の電源スイッチが「入」になっていますか。	22
	● 「CEC」を「有効」にしており、CEC デバイス側を制御するようになっていますか？	49
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けている可能性があります。	—
色が薄い	● 「映像」→「画質モード」→「色の濃さ」の調整がずれていませんか。(映像の調整値をご確認ください。)	—
色模様が出たり色が消える	● 他の映像機器から影響(妨害電波)を受けていませんか。本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
画面の上または下が欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。画面位置の調整をしてください。 「映像」→「拡張設定」→「画面モード」→「ピクチャーシフト」 「映像」→「PC 位置調整」	—
画面の上下に映像の出ない部分ができる	● 16:9 より横長の映像ソフト(シネマサイズのソフトなど)のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	—
映像の輪郭がチラチラする	● 液晶パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	—
本体のボタンで操作できない	● 「サイネージ」→「制御設定」→「ボタン操作制限」を「オン」にしていますか。	—
映像、音声が出ないことがある	● HDMI 信号をセレクタや分配器を通して本機に入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われず場合があります。本機の電源を入れ直すまたは、セレクタや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
<p>小さな音が大きく聞こえたり、大きな音にリミットが掛かっている。 ノイズ音が気になる。 音楽を聴くときボーカルと楽器の音量バランスがおかしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「音声」 → 「自動音量調整」 がオン（「ノーマル」 / 「ナイト」 / 「オート」）に設定されていませんか。 	-
<p>音声の歪み、ノイズ音が気になる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声入力端子（AUDIO IN）に定格（0.5 Vrms）以上の音声が入力されていませんか。 定格内の音声入力でご使用ください。 	58・60
<p>映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。万一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約 5 秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。 	22
<p>RS-232C 制御ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 	18
<p>LAN 制御ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 ● 「管理者アカウント」が設定されていませんか。 ● コマンドで制御する場合は、「ネットワーク」 → 「コマンド制御」が「オン」になっていますか。 ● 「ネットワーク」は正しく設定されていますか。 ● Crestron Electronics, Inc. の機器を接続している場合は、「ネットワーク」 → 「Crestron Connected™」をお使いの機器に合わせて設定してください。 	38 - 38 -
<p>ワイヤレス接続が利用できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の接続を許可しているか、ネットワークのファイアウォールを確認してください。 ● 「ネットワーク」 → 「無線ネットワークスキャン」から、もう一度、ワイヤレス接続を検索してください。 ● ワイヤレス接続が正しく機能しない場合は、有線接続を使用してみてください。詳しくは、「有線接続」をご覧ください。 	- 38
<p>ワイヤレス接続が遅い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部サービスエリア、接続速度、信号品質、およびその他の設定に関する情報を得るには、ワイヤレスモデムの取扱説明書を参照してください。高速接続対応のモデムが必要です。 	-
<p>ワイヤレス接続で再生中に中断する、反応が遅い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子レンジ、携帯電話、Bluetooth デバイス、その他の WLAN 互換デバイスから 3 m 以上離してください。WLAN ルーターのアクティブチャンネルを変更してみてください。 	-
<p>ワイヤレス接続でインターネットに接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンまたはモデムの MAC アドレス（ユニークな識別子番号）が永続的に登録されている場合、本機がインターネットに接続されていない可能性があります。この場合には、インターネットに接続するたびに MAC アドレスが認証されます。これは、不正アクセスに対する予防のためです。本機には独自の MAC アドレスがあるため、インターネットサービスプロバイダーは本機の MAC アドレスを検証できません。インターネットサービスプロバイダーに連絡して、本機など別のデバイスをインターネットに接続する方法を確認してください。 ● ファイアウォールの問題により、接続が利用できない可能性もあります。これが原因と思われる場合は、インターネットサービスプロバイダーに連絡してください。ファイアウォールが接続の問題の原因である可能性があります。 	- -

こんなとき	ここをお調べください	参 照 ページ
勝手に電源が入る 電源が入っても映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「サイネージ」 → 「起動設定」の「HDMI1 パワーマネージメント」や「HDMI2-HDMI3-HDMI4 パワーマネージメント」が「有効」に設定されていると、HDMIのいずれかの端子に5V信号が検出されると、本機は起動し、信号を検知した入力に切り換わります。 ● 接続している機器によっては、映像出力が無い場合でも5V信号を出力します。映像信号が出力されているか確認してください。HDMIの信号で起動させるには、あらかじめ接続機器をオフにしておきます。 	<p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">-</p>
USB入力からのファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生ファイル仕様を確認してください。 	<p style="text-align: center;">46</p>

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

54 ページ「修理を依頼される前に…」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

PASS にて登録いただけますと、追加で 2 年間の無償修理サービス特約が適用されます。

本体購入後 1 か月以内に PASS にご登録頂きますようお願い致します。

「PASS」とは、パナソニック 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサポートサイトの名称です。

詳しくは、WEB サイト

<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/> をご覧ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

パナソニック コネクト株式会社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号
製品名・品番・お買い上げ日
故障または異常の内容
訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル  **0120-872-002**
※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金 (祝日と弊社休業日を除く)
9:00～17:30 (12:00～13:00は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/prodisplays/supportcenter/>
ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

本体

品番	TH-75SQE1J (75V型) ^{*1}	TH-65SQE1J (65V型) ^{*1}
種類	UHD 液晶ディスプレイ	
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz	
消費電力	334 W	281 W
	本体電源「切」時 約 0 W リモコンで電源「切」時 約 0.5 W	
音声実用最大出力	24 W (12 W + 12 W) JEITA	16 W (8 W + 8 W) JEITA
画面寸法	幅 : 1 649.6 mm 高さ : 927.9 mm 対角 : 1 892.7 mm	幅 : 1 428.4 mm 高さ : 803.5 mm 対角 : 1 638.9 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)	
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 40 °C ^{*2} 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
稼働時間	24 時間 / 日	
SLOT 用 供給電力	12 V / 最大 3.5 A	
HDMI 2.0 入力端子 HDMI IN 1 ~ HDMI IN 4	TYPE A コネクター ^{*3} × 4 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
DisplayPort 1.2a 入力端子 DisplayPort IN	DisplayPort 端子 × 1 (4K 対応 / 30P まで) HDCP1.3 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
DisplayPort 1.2a 出力端子 DisplayPort OUT	DisplayPort 端子 × 1 (4K 対応 / 30P まで) HDCP1.3 対応	
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DCC2B 対応) × 1 RGB 0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない HD/VD TTL (ハイインピーダンス)	
音声入力端子 AUDIO IN	ピンジャック × 2 (L/R) 0.5 V [rms]	
音声出力端子 AUDIO OUT	ステレオミニジャック (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms] 出力 : 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 k Ω 負荷時)	
デジタル音声出力端子 DIGITAL AUDIO OUT	SPDIF × 1	
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠	
LAN 端子 LAN	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PLink 対応 通信方式 : RJ45 10BASE-T/100BASE-TX	
リモコン入力端子 IR IN	ステレオミニジャック (φ 3.5 mm) × 1	

品番	TH-75SQE1J (75V型) *1	TH-65SQE1J (65V型) *1
USB 端子 USB-C USB	USB コネクタ TYPE C × 1、DC 5V/ 最大 1.5A USB コネクタ TYPE A × 3、DC 5V/ 最大 0.5A	
サービス端子 SERVICE 1、SERVICE 2	RJ12 × 2 (サービス専用)	
外形寸法	幅：1 684 mm 高さ：968 mm (リモコンセンサーを含む：984 mm) 奥行：100 mm (VESA ナットの先端まで：73 mm)	幅：1 460 mm 高さ：842 mm (リモコンセンサーを含む：859 mm) 奥行：96 mm (VESA ナットの先端まで：72 mm)
質量	約 37.4 kg	約 25.8 kg
キャビネット材質	金属 (前面)、樹脂 (側面、バックカバー)	

品番	TH-55SQE1J (55V型) ^{*1}	TH-49SQE1J (49V型) ^{*1}	TH-43SQE1J (43V型) ^{*1}
種類	UHD 液晶ディスプレイ		
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz		
消費電力	197 W	186 W	172 W
	本体電源「切」時 約 0 W リモコンで電源「切」時 約 0.5 W		
音声実用最大出力	16 W (8 W + 8 W) JEITA		
画面寸法	幅：1 209.6 mm 高さ：680.4 mm 対角：1 387.8 mm	幅：1 073.8 mm 高さ：604.0 mm 対角：1 232.0 mm	幅：941.1 mm 高さ：529.4 mm 対角：1 079.8 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)		
動作使用条件	温度：0 °C～40 °C ^{*2} 湿度：20 %～80 % (結露のないこと)		
稼働時間	24 時間 / 日		
SLOT 用 供給電力	12 V/ 最大 3.5 A		
HDMI 2.0 入力端子 HDMI IN 1～HDMI IN 4	TYPE A コネクター ^{*3} × 4 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)		
DisplayPort 1.2a 入力端子 DisplayPort IN	DisplayPort 端子 × 1 (4K 対応 /30P まで) HDCP1.3 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)		
DisplayPort 1.2a 出力端子 DisplayPort OUT	DisplayPort 端子 × 1 (4K 対応 /30P まで) HDCP1.3 対応		
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1 RGB 0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない HD/VD TTL (ハイインピーダンス)		
音声入力端子 AUDIO IN	ピンジャック × 2 (L/R) 0.5 V [rms]		
音声出力端子 AUDIO OUT	ステレオミニジャック (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms] 出力：可変 (-∞～0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 k Ω 負荷時)		
デジタル音声出力端子 DIGITAL AUDIO OUT	SPDIF × 1		
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠		
LAN 端子 LAN	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PLink 対応 通信方式：RJ45 10BASE-T/100BASE-TX		
リモコン入力端子 IR IN	ステレオミニジャック (φ 3.5 mm) × 1		

品番	TH-55SQE1J (55V 型) ※ 1	TH-49SQE1J (49V 型) ※ 1	TH-43SQE1J (43V 型) ※ 1
USB 端子 USB-C USB	USB コネクタ TYPE C × 1、DC 5V/ 最大 1.5A USB コネクタ TYPE A × 3、DC 5V/ 最大 0.5A		
サービス端子 SERVICE 1、SERVICE 2	RJ12 × 2 (サービス専用)		
外形寸法	幅：1 239 mm 高さ：712 mm (リモコンセンサーを含む： 730 mm) 奥行：104 mm (VESA ナットの先端まで： 82 mm)	幅：1 102 mm 高さ：635 mm (リモコンセンサーを含む： 652 mm) 奥行：105 mm (VESA ナットの先端まで： 81 mm)	幅：966 mm 高さ：558 mm (リモコンセンサーを 含む：576 mm) 奥行：106 mm (VESA ナットの先端まで： 81 mm)
質量	約 17.2 kg	約 13.0 kg	約 10.3 kg
キャビネット材質	金属 (前面)、樹脂 (側面、バックカバー)		

リモコン

使用電源	DC 3 V (単 3 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 111 g (乾電池含む)
外形寸法	幅：51 mm 高さ：161 mm 奥行：27 mm

※ 1 ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 2 高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合は使用環境温度は 0℃～35℃になります。

※ 3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック コネクト株式会社 (パナソニック コネクト) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック コネクトにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPLV2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品の「システム」-「その他」からの所定の操作によって [ソフトウェアライセンス] の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニック コネクトは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して (以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ) 記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。
- 詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Crestron Connected、Crestron Connected ロゴ、Crestron Fusion、Crestron RoomView、RoomView は、Crestron Electronics, Inc. の、米国および / または各国での商標または登録商標です。
- USB Type-C は USB Implementers Forum の商標または登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズのライセンスに基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Dolby Audio、ドルビーオーディオおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番	
	販売店名	☎ () -	お客様ご相談窓口 ☎ () -	

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2022